

担当科目	1) 現行授業の目標と教育効果	2) 自己評価	3) 授業改善・対応方法	授業評価 回収率 科目GPA
S221024 経済学概論	公民分野の学校教育で必要とされる国際標準的内容の経済学を一通り学習し、基本的な知識を修得することを到達目標としている。 講義では、主として国全体の経済を考えるマクロ経済学、個人や企業の行動と市場の価格メカニズムの理論であるミクロ経済学の基礎理論を学習し、基礎理論に基づいて日本経済の諸問題についての理解を深めることを目標とした。	旧カリでは、公民、商業の教職科目ということで、教職に就く意思のあることが基本であり、受講者3名の少人数授業となった。また、知人同士でもないようであった。その結果、授業中は私語もなく、出席率はほぼ100%であった。 毎回の講義資料中の空欄の答えを質問する形式の授業を行った点は、受講生の集中力を維持する上で効果があったと思う。 新カリでは150人規模となったため、授業形式を大きく変えている。 本年度は、コロナの影響が弱まったという判断で対面が原則となった。 経済系、経営系の基礎となる基本科目として、標準的内容かつ最先端の情報もカバーすることを心がけた。	2020年度からの新カリキュラムでは、本科目は、卒業認定単位に含まれる科目となったため、2019年度までの少人数授業から大規模授業科目となった。これまでの授業方法を大きく変えることになり、大人数を前提とした授業運営に切り替えた。 専門科目の経済系の科目を学ぶためのマクロ経済学の基礎として位置付けている。マクロ経済の最新のデータを身に付けてもらうよう指導したい。	授業評価4.20 回収率64% 科目GPA2.04
S221023 経営財務	経営財務は、企業を営むために必要な投資、資金調達、利益分配の基本原則に関する学問領域です。主として株式会社の起業および経営に必要な理論および実務について学びます。 企業の財務と株式市場との関係についての理解を深めることが主要な目的です。 遠隔授業にも対応できるように、授業資料のスマホでの利用可能性を重視して講義を進めます。 企業の財務を株式市場への投資家の視点から分析することが中心です。 課題・試験については、適宜、授業の中で講評・指導します。	経営財務＝コーポレートファイナンスは、経営学の中核的な科目であるが、経済学に基づく理論や統計学を利用した計量的な内容が多く、学生には学びにくい領域でもある。そのため、基礎理論に絞った内容で、実際の事例やケースを紹介し、取り組みやすい内容とすることを第一とした授業を行った。	企業で働く時に、すぐに使えるような内容で講義したが、事例の紹介にとどまらず、学生が事例を探したり、取り組んだりするような、より主体的な授業となることを次の目標とした。	授業評価4.22 回収率66% 科目GPA1.76
S221040 現代マネジメント講義Ⅰ	現役経営者の講義から、将来自分が経営者・管理者に就任した時に必要な経営実践のヒントを学ぶことができる。 講義の内容を理解し、講義内容の要点をノートに的確にまとめることができる。 実社会で活躍される現役経営者のお話から、経営という仕事にはどのようなことが求められるのかを学び取り、自らのビジネスパーソンとしての教養及び経営実践能力の向上に反映させることを目的とします。	現代マネジメント講義の1年間12名の外部講師講義の中でも最大のイベントである原山祭企画のゲストスピーカーとして、岡崎市に隣接する愛知県新城市の市長に昨年11月に就任された下江洋行市長に依頼することにし、事前交渉を本年1月から開始し、御快諾をいただき、大学生向けの内容となるよう相談を重ねるという準備作業を行った。	ゲストスピーカー6名の人選が的確であり、またバランスも取れていた。 学生の就業意識や社会に出る上での心構え等、他の授業とは異なる意義深い講義となったと思う。 ゲストスピーカーに対する質問も、毎回、一定数出ていた。事前学習の指導が適切であったのではないと思う。	授業評価4.48 回収率51% 科目GPA1.87
S221053 専門ゼミナールⅢ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできるようにすることを目標とする。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身に付け、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	経営学というよりも、一般的な判断力、推理力を身に付ける基礎的な方法についての演習を行った。具体的には、フェルミ推定等である。新鮮さはあったかと思う。 硬式野球部の主力メンバーが多い割には、リーグ戦中の欠席は少なかった。野球部員と一般学生との間に溝はなかったと思うが、交流が少なかったことは事実であり、指導する上での課題であることは認識している。	研究テーマを自分で見つけられない学生が多かった。テーマの絞り込みができるような誘導の仕方が重要かと思う。 データの収集方法や事例の探し方を、4年生前期に指導することが重要であると思った。	授業評価5.0 回収率50% 科目GPA3.60
S221080 卒業研究Ⅰ	企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができることを目標とする。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身に付け、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	就職活動と卒論準備の両立を支援することを心がけた。卒論の意義の理解から出発する必要がある、前半はペースが遅めであった。しかし、就職先内定後は執筆の準備に取り掛かる学生が着実に増えた。	研究テーマを自分で見つけられない学生が多かった。テーマの絞り込みができるような誘導の仕方が重要かと思う。 データの収集方法や事例の探し方を、4年生前期に指導することが重要であると思った。	授業評価5.0 回収率58% 科目GPA4.00
S221036 金融リテラシー 【開放】	金融経済に関する基礎的な知識を身に付け、生活に必要なお金に関する情報を正しく理解し、判断することができる。 生涯を通じて「お金を自分の味方につけられる」ようにするために必要な金融リテラシーの習得を目的とする。	金融リテラシーの習得を基本目標として、自著である『はじめての金融リテラシー』（昭和堂2018年）を教科書として、講義形式を基本としながら、学生に問いかけながらわかり易い授業を進めた。 毎授業の感想を出席票に記入させたところ、「授業内容がとてもわかり易い」「将来ためになる内容」といった記述が多くみられた。	使用した教科書は本学の学生に適合させた自著であり、狙い通り授業ができたと考えている。 今後は、よりその時の話題を取り入れることで、学生の興味や知識を増やす工夫を続けていきたい。	授業評価4.64 回収率68.3% 科目GPA1.81
S221042 国際金融論 公教必	国際金融の基礎理論を理解し、為替レートの変動など国際金融に関する新聞記事やニュースを理解できるようになる。 国際金融を体系的に理解できるようになることを目標に、歴史・理論・現実をバランスよく扱う。	自著である『はじめての金融リテラシー』（昭和堂2018年）を用いて、国際金融を理解するための基本知識をおさえた上で『国際金融論をつかむ』（小川英治 有斐閣2019年）を用いた教材によって、国際収支、外国為替のしくみ、為替決定理論、世界金融危機、世界経済の変化などを扱った。 具体的な事例をとりあげながら、わかり易い授業を心がけたため、毎回の出席票の記述からも、授業内容がよく理解できたとの感想が多くみられた。	授業内容は受講生のレベルに適合した内容であったが、今後はよりその時々話題にあった内容を多く取り入れることで、より学生の興味をひきつけるよう、改善を続けたい。	授業評価4.59 回収率80.0% 科目GPA2.58
S221066 国際経済論	貿易について理解し、貿易を通じて世界的な相互依存関係が更に強まっていること、アジア太平洋地域との一体感が更に進むことが理解できる。 経営学の基本である経営資源（人、モノ、金、情報）が国際経済の中でどのように活用されているのかを学ぶことで、企業で実際にマネジメントできるようになる。	自著である『はじめての金融リテラシー』（昭和堂2018年）によって基本的な国際経済の知識をおさえた上で『貿易論』（小峰隆夫 日経文庫）を使って、国際貿易がどのような流れで行われており、何が問題となっているのかを授業で取り扱った。 具体的な事例をあげてわかり易く説明することにより、学生の理解はほぼ目標通り進んだと考えている。	扱っている内容が比較的難しいにもかかわらず、学生の評価は高いと考える。 今後は、その時々話題をできるだけとりあげること、学生がより具体的に国際経済を理解し、自分の国政経済観を形成できるように務めていきたいと考える。	授業評価4.54 回収率69.6% 科目GPA1.80
S221028 専門ゼミナールⅠ	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身に付けられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けいく探求能力を身に付けられるようになる。	経営上の様々な問題を考えるために必要となる金融経済的な基礎知識を身に付けられるよう、自著である『はじめての金融リテラシー』を使って、テーマごとに担当者を決めて、発表と討論を行った。 基本的な金融経済知識に乏しい学生が多く、この授業を通じて多くの知識を身に付けることができたのではないかと考える。	学生のプレゼン能力がより高まるよう工夫していきたい。	授業評価4.78 回収率70.6% 科目GPA2.71

S221046 専門ゼミナールⅢ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業倫理観を身に付け、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	各自の設定した課題テーマを発表し、討論を行った。 学生の調べた内容、解釈レベルには限界があるものの、自ら調査し、考える力を養うことができる程度でできた。考える。更に、各自のプレゼン技術もそれぞれに改善することができた。	今後は、4年生からの卒業研究に向けて、自分の興味のあるテーマの設定と展開について個別に指導していきたい。	授業評価4.84 回収率62.5% 科目GPA3.00
S221070 卒業研究Ⅰ	自分で設定したテーマについての研究成果を卒業論文にすることが出来る。	各自が設定したテーマについて個別指導を行った。また、途中経過について、各自で発表させ、問題点をお互いに指摘するよう促し、改善点について指導した。	今後は、各自のテーマ設定と調査開始がより計画的に進むようスケジュール管理を徹底させていきたい。	授業評価4.70 回収率60.0% 科目GPA2.70
S221008 経営の基礎Ⅰ	他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 高校生から(本学)経営学部学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、経営学部学生としてのスキル・スキルを身に付けると共に、経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる資質・能力を育成する。	他ゼミとの合同授業による講義が殆どで、授業課題の添削指導だけに終わり、授業目標を個々の学生が身に付いたかどうか判断しづらい面もあったが、多くの学生は遅刻、欠席も殆どなく意欲的に取り組めた。学生の学習の振り返りをする場面で個別に面談などをして指導する機会を持つと更に効果がでると考える。	添削指導、フィードバックに時間をかけると同時に、ユニバ等を効果的に利用して、きめ細かな指導を図ってきたい。	授業評価4.4 回収率80% 科目GPA2.4
S221079 卒業研究Ⅰ	経営学関連の問題に関連したテーマを自ら設定し、そのテーマを調査・研究し解明していくことによって、経営能力を身に付けることができる。 教育・学校機関と社会との関わりについて、教育課程、学校経営、教員の資質と能力などの様々な視点からみることで教育・学校教育機関の在り方や考え方を検討し、理解していくことを目的とする。教育・学校機関と社会との関わりについて、教育課程、学校経営、教員の資質と能力などの様々な視点からみることで、多様な教育・学校教育機関の在り方や考え方を検討する能力を身に付ける。	履修者4名の小人数の授業で、学生は教職を目指す学生が殆どで、教育をめぐる諸課題、学校経営の在り方などのテーマを中心に情報を収集し、発表を通じて学生が主体的に課題に取り組んだが、学生の学修不足もあり、表面的な理解に終わった。 多面的・多角的に思考、表現する点に欠ける点もあり、後期には多くの文献に当たらせ、個別にアドバイスを、支援をする場面を多く設定していくつもりである。	授業評価の低かった学生の達成目標の到達を実現できる手立てとして、授業課題、授業外課題、参考文献一覧などを工夫して、受講生徒が主体的に学習する方策を今後考えていきたい。	授業評価4.9 回収率75% 科目GPA3.3
S221067 職業指導	授業の目標としては、学校・企業現場における職業指導教育業務に、誇りと自信をもって生徒を指導できるキャリア能力を身に付ける。 教育効果としては、現在及びこれからの職業指導に必要な基礎的知識や技能を身に付け、実際の教育現場で、担任指導、進路指導できる能力や資質の向上を目指す。	4名の小人数の授業で、職業面談の持ち方の演習、職業指導の学習指導案の作成などにおいて、きめ細かな指導及びフィードバックも効果的にでき、ミニ模擬授業も実践的なものになった。	商業高校をとりまく就職環境の変化、AIを取り入れた業種など目まぐるしく変化する実態を踏まえた実践的な講義を、演習場面を授業に取り入れていきたい。	授業評価4.8 回収率100% 科目GPA3.5
Q223001 教育実習	授業の目標としては、実習校で、教科指導、生徒指導を中心に実践的な能力の育成を図る。 教育効果としては、学校現場において、教科の知識、指導技能、面談技能など実際の教育現場で対応できるようになることを目指します。	この科目、全て教育実習校で行われる授業であることから、大学の担当教員としての自己評価はないが、教育実習中の巡回指導において学生との面談や指導教諭との連携はできた。	教育実習に対する事前・事後指導において、現在の教育現場に即した実践的な指導の場面を取り入れた工夫を図ってきたい。	授業評価4.8 回収率100% 科目GPA(通年科目のため前期評価未確定)
Q223010 事前・事後指導	教師として振舞い、学習指導案の作成と生徒の前で授業ができる指導と実践ができる。 実習生は学ぶ生徒である立場と教える先生の立場とを兼ね備えるという視点から、この二つの立場の本質を理解することを重点にする。 外部の学校での実習に臨むために、教育実習生としてふさわしい態度、言葉づかい、あいさつ等一般社会での常識を習得し、人間性を磨くことも目指す。	学習指導案の作成、模擬授業の実施、担任としてのクラス業務の把握なども高いレベルで実施でき、学生もある程度の自信をもって教育実習の取り組みができた。 また、実習中の流れと心得を実務、実践レベルでまとめたパワーポイントの教材の配信は学生に好評であった。	授業評価にみられるように、学生が達成目標や成果がある程度得られたことから、更に実際の学校現場で授業、担任業務に対応できるように、ICTなどを使用した実践的な学習課題の工夫や模擬授業の実施などを考えていきたい。	授業評価4.7 回収率67% 科目GPA(通年科目のため前期評価未確定)
Q221005 公民科教育法Ⅱ	授業の目標としては、学習指導要領に示された公民科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めると共に、具体的な授業場面を想定した授業設計や学習評価、授業改善を行う方法を身に付ける。 教育効果としては、学習指導案の作成や模擬授業および教材作成などにより指導分野の理解を深め、学校現場で通用する指導力、実践力の育成を目指す。	公民科の授業をする上で、本学の学生が不足している教科の知識を補うことができず、また、指導案の作成および模擬授業では授業の構造化がうまくできずメリハリのない授業が多いのが反省点である。 学生の模擬授業で、ICT機器を効果的に使用したり、発問をうまく活用できた点は評価できる。	公民科の基礎的な知識を確認する課題を与えて教科に関する知識を補うことを考えていきたい。学生が行う授業で学習目標を明確にするために、その授業に対応するテスト問題(評価問題)の作成指導を通じて学生に示していきたい。	授業評価4.6 回収率75% 科目GPA3.3
L221008 情報リテラシー A1	①情報倫理を身に付けることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。	対面授業になって受講生50人程度なのでSA1人がいれば対応できる体制を整えた。教室が2406になり、学生用のモニターがなく、正面のプロジェクターの画面をみて操作となり見づらかったと思う。高校でPCを習得している学生としていない学生の二分化がみられた。	SAの対応改善 自宅での予習復習にPCが必要になるので何とかしたい。	授業評価4.2 回収率89.2% 科目GPA2.05
L221009 情報リテラシー D1	①情報倫理を身に付けることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。	対面授業になって受講生50人程度なのでSA1人がいれば対応できる体制を整えた。教室が2406になり、学生用のモニターがなく、正面のプロジェクターの画面をみて操作となり見づらかったと思う。高校でPCを習得している学生としていない学生の二分化がみられた。	SAの対応改善 自宅での予習復習にPCが必要になるので何とかしたい。	授業評価4.43 回収率71.9% 科目GPA2.0
L221012 情報リテラシー B3	①情報倫理を身に付けることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。	対面授業になって受講生50人程度なのでSA1人がいれば対応できる体制を整えた。高校でPCを習得している学生が殆どいないので少し驚いた。 現状では半期だけの学習ではとても覚えきれないと思う。	SAの対応改善 自宅での予習復習にPCが必要になるので何とかしたい。	授業評価4.48 回収率61.7% 科目GPA1.45
S221015 IoT社会 【開放】	IoTの発展の経緯や仕組みを理解し、説明することができる。	PCの基礎、インターネットの基礎、経営の基礎が身につくことについてのIoT社会である。学生の生活に沿った授業をしても理解しがたいことが多かった。基礎学習が必要である。普通教室の講義であるが、体験させることが必要と思われる。	難しいことはやめ基礎に徹すること。	授業評価4.23 回収率66.7% 科目GPA0.70

S221026 専門ゼミナールⅠ	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身に付けられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身に付けられるようになる。	2年生の前期専門ゼミは、ITパスポートの資格取得に頑張ってきたが2名の合格であった。 自宅学習がないためITパスポート試験を受験しても点数が伸びていないのがわかった。	学生自らの学習が見受けられない。 今後課題等に工夫が必要である。	授業評価3.95 回収率57.1% 科目GPA2.0
S221039 経営とソーシャルメディア	ソーシャルメディアの基本を学び、各メディアの特性を知り、企業経営にどのように取り入れていくかを理解することができる。	多くの学生がSNSを使っているが、企業として(店)売り上げにつなげることを知らない。 この授業で企業としてのSNSの使用方法が理解できればよい。	SNSは個人でやっているのに経営と結びつかないのが残念である。 各自ショップ経営でもやらせたい。	授業評価4.42 回収率50.6% 科目GPA1.57
S221045 専門ゼミナールⅢ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。	3年生の前期専門ゼミは、MOSのワード資格取得に頑張ってきた。全員合格でき良かった。	学生自らの学習が見受けられない。 今後課題等に工夫が必要である。	授業評価4.7 回収率44.4% 科目GPA2.11
S221073 卒業研究Ⅰ	企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。	学生は、卒論のタイトル決めもなかなか進まず、就活に力を注いでいるようだ。指導方法の模索。 昨年ITパスポートの学習をしていたため1名試験に合格した。	アンケートに回答する指示を忘れました。 学生自らの学習が見受けられない。今後課題等に工夫が必要である。	授業評価5.0 回収率33.3% 科目GPA3.67
S221011 経営の基礎Ⅰ	達成目標 ・他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 ・経営学の基本的考え方、専門用語を理解、活用できる。 ・講義中に出てきたキーワードを活用し、現代企業の在り方について総合的に判断できる。	初めて担当する科目であったため戸惑うこともあったが、他ゼミとの共同授業も多く設定されたことで、良い刺激が得られた。 学生たちにはまず授業に対し欠席をせずレポートを必ず提出し、生活も規則正しくリズムを作るよう指示した。 また、個人面談を全員に1回ずつ行い、授業を欠席した者には、適宜面談を行ったことで、学生の把握ができた。	個人面談は効果があり、学生の把握ができたが、もう少し突っ込んだ内容の把握が必要である。特に、後半になって気が緩む傾向が出てくるので、来年は7月に再度面接ができれば実施していきたい。	授業評価3.73 回収率80.0% 科目GPA2.93
S221018 スポーツ指導論	達成目標 スポーツ指導者の立場や役割を理解できる。 スポーツ指導者に必要なスポーツ科学の知識を習得できる。 スポーツ指導の過程を理解し、その実践方法を習得できる。 スポーツ経営の現場で重要な役割を占めるスポーツ指導者を育成するために必要なスキルと知識を理解します。	スポーツ指導者に必要なスキルと知識、考え方についての基礎を身に付けることを中心に授業を進めた。また、外国の学生も交じていたため専門用語も理解しやすいように平易な言葉で説明したところ、理解はかなり進んだ。 受講生が多かったことと、まだコロナの蔓延があり、慎重にならざるを得ず、グループワーク・ディスカッションは避けた。	来年度はコロナの様子を見て、グループディスカッションを取り入れた授業を進めていきたい。	授業評価4.40 回収率72.7% 科目GPA2.04
S221037 トレーニング演習	体力の診断と問題解決の方策を助言できる能力を身に付けることができる。 身体状況と体力的特性に応じて適切な運動プログラムを作成できる。 安全で効果的な運動プログラムの実践に必要な知識と技能を身に付けることができる。 トレーニングプログラム策定の実践能力を身に付け、スポーツマネジメントの現場で活躍する能力を養成します。	「体力とトレーニング」において習得した知識をベースに、エクササイズや、プログラミングの実践を通して、フィットネス・エクササイズの実践者として必要な技能の習得を目標としたが、基礎的な部分は理解されたものの、実践的にはまだまだ経験が必要である。	運動部の学生が多く、トレーニングに関しては興味をもって受講していたが、演習としては実際に体を動かす場面がなかなか乗ってこなかったことがあり、次年度は、このあたりをもう少し工夫し、興味・関心を持てるような内容で取り組んでいきたい。	授業評価4.48 回収率56.1% 科目GPA2.07
S221062 戦略思考Ⅰ	達成目標 与えられたテーマについて、論理的・戦略的に思考し、自分なりの意見を提示することができる。 他者とコミュニケーションを取りながら集団の意見を集約し、課題解決することができる。 現代組織の運営に必要なコラボレーションに関わる知識・スキルを身に付けることができる。 ビジネスパーソンに必要なスキルと知識を理解していきます。	日本スポーツ協会の指導者資格獲得を目指しての講義を重点的に行ったが、コーチングや、トレーニング・ジュニア育成に関しては興味をもって望んでいたものの、法律や組織論に関してはどうしても関心が薄く、一方的な講義になった傾向があると感じている。	次年度は、コロナの終息を考えたうえで、ディスカッションの比率を多くしていきたい。	授業評価4.43 回収率77.4% 科目GPA2.10
L221046 キャリアデザインⅠB1	達成目標 自己のこれまでの経験・学びについてまとめ、伝えることができる。 自分軸を形成することができる。 自己に必要な知識や能力が認識できる。 人生のキャリアデザインを考え、社会で活躍できる力をつけます。	大教室での授業はどうしても全体に目が届かず、学生の自主性に期待する部分が多い。しかし、本講義は学生本人にとって差し迫った問題であり、真剣さを期待したが、どこか他人事と捉えている学生が多いようである。多くの学生に声をかけながら進めてきたが、その点で、工夫がまだまだ必要であるように感じている。	講義の後半は集団面接を実施したが、学生自身は実際に取り組んでみると真剣になり始める。しかし、学生によっては欠席も多く、面倒な講義は避ける傾向がみられた。次年度は、実践の重要性をしっかりと伝え、臨みたい。	授業評価4.44 回収率55.2% 科目GPA1.93
S221019 マーケティング論	達成目標 マーケティングの基礎理論について理解することができる。 授業で学んだキーワードを活用して、企業のマーケティング戦略が分析できるようになる。 マーケティングに関する基本的な理論と実態の理解を通して、企業や社会における課題発見力を身に付け、マーケティングを実践的に活用できることを目的とする。	事例と理論を組み合わせ、日常生活に身近な学問であることを分かり易く説明して理解を促した。 極力具体的で身近なケースを提示して、イメージしやすいように工夫をした。 授業を通して身に付けたマーケティングの基礎理論によって、社会志向・顧客志向の実践的な判断ができるようになったと考える。	マーケティングの理論と話題の新商品やサービスのトピックスを結び付けて理解の促進を図ってほしい。 商品の現物の提示や動画による事例紹介を取り入れ、テーマに対する関心を高めてほしい。	授業評価4.668 回収率56.8% 科目GPA2.05
S221020 マーケティング論	達成目標 マーケティングの基礎理論について理解することができる。 授業で学んだキーワードを活用して、企業のマーケティング戦略が分析できるようになる。 マーケティングに関する基本的な理論と実態の理解を通して、企業や社会における課題発見力を身に付け、マーケティングを実践的に活用できることを目的とする。	事例と理論を組み合わせ、日常生活に身近な学問であることをわかりやすく説明して理解を促した。 極力具体的で身近なケースを提示して、イメージしやすいように工夫をした。 授業を通して身に付けたマーケティングの基礎理論によって、社会志向・顧客志向の実践的な判断ができるようになったと考える。	マーケティングの理論と話題の新商品やサービスのトピックスを結び付けて理解の促進を図ってほしい。 商品の現物の提示や動画による事例紹介を取り入れ、テーマに対する関心を高めてほしい。	授業評価4.668 回収率56.8% 科目GPA2.31
S221054 専門ゼミナールⅢ	達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身に付け、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培うことを目的とする。	各自で行ったケース分析の結果をメンバーで共有し、人の意見を参考にしながら思考する探求力を身に付けるように心掛けた。 また他のメンバーが取り組んだ事例から新たな気づきや関心が持てるように解説した。	プレゼンテーションや授業時間外課題で各自が取り組むケーススタディに加え、他の学生の発表や意見からも刺激を受け、新たなテーマに自主的に取り組むように指導を行う。その結果として、広い視野で研究にアプローチできる力が身に付くことを目指したい。	授業評価5.000 回収率63.6% 科目GPA3.64

S221082 卒業研究 I	達成目標 経営学関連の問題に関連したテーマを自ら設定し、そのテーマを調査・研究し解明していくことによって、経営能力を身に付けることができる。 ビジネスパーソンとして必要な経営戦略的思考と職業的倫理観を身に付け、社会に出てから活躍できる能力を養うことを目的とする。	事例や先行研究にあたりながら卒論のテーマを絞っていき、各自の報告とフィードバックをメンバー全員で共有した。その結果として、相互に影響を与え合い、問題意識を高めることができたと思う。	最後に行う卒業論文作成のプレゼンテーション、ディスカッションを更に充実させたい。その為に、卒論執筆の準備段階として、何を明らかにするのかという方向性を明確に持てるよう指導を行う。その上で、卒論テーマに応じて個別に参考文献の紹介や調査方法などを提示し、テクニカルな指導を段階的に加えるようにしたい。	授業評価4.840 回収率83.8% 科目GPA3.83
S221027 専門ゼミナール I	達成目標 経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身に付けられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身に付けられるようになる。	ケースの選択にあたって、留学生を含め誰でも知っている身近で親しみやすい商品や企業を取り上げた。 各自で行ったケース分析の結果をメンバーで共有し、人の意見を参考にしながら思考する探求力を身に付けるように心掛けた。	単に各自で調べた内容を発表するのではなく、意見交換を重視する。 留学生を含め各メンバーのプレゼンテーションに対し全員からコメントを求め、ディスカッション能力の向上を目指すと共に、経営に対する関心も高められるように指導したい。	授業評価4.459 回収率100% 科目GPA3.76
U221008 日本の産業	達成目標 日本の産業の発展過程と特徴を理解することができる。 産業と社会との関係を理解することができる。 今後のあるべき日本の産業像を考察することができる。□ 日本のさまざまな産業が発展してきた歴史や社会的背景の理解を通して、専門分野と産業、社会との関係における課題発見力を身に付けると共に、産業が今後どのように変化していくのかを考察することを目的とする。	極力具体的で身近なケースを提示して、イメージしやすいように工夫をした。 各産業が発展する方策を提案してもらう課題を出し、その提案を全員が共有することで多様な考察ができるように心掛けた。その結果、各学科の専門に合わせて産業と社会との関係を理解することができたと思う。	各産業が発展してきた歴史と現状と共に、将来像にも重きを置き、専門分野と産業、社会との関係における課題発見力を身に付けることができるようにしたい。	授業評価4.477 回収率64.8% 科目GPA2.63
G221003 マネジメント特論	達成目標 1. マネジメントの基礎理論を理解できる。 3. 経営戦略のフレームを事例に適用して理解できる。 リソースを有効に活用しながら組織目標の達成を目指すために、理論と実践の両面からマネジメントにアプローチし、経営課題の分析力を身に付けることを目的とする。	マネジメントを大きく経営組織論と経営戦略論という枠で捉え、前者については組織構造、組織文化、人的資源、リーダーシップ等について、後者については競争戦略、企業・事業戦略、マーケティング等について考察と議論を行った。 教科書を用いて現代のマネジメントを体系的に学べるように心掛けた。	教科書を各自で順番に1章ずつまとめる課題を課し、発表するようにしたが、履修者全員が留学生で日本語能力に限界がみられた。発表後に不明点に対する説明を丁寧にすることで理解促進を図りたい。	授業評価4.500 回収率66.7% 科目GPA2.33
L221033 スポーツA, A, D	達成目標 ①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。 ②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。 ③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。 教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索し	今年度は、90分の対面授業形態で実施した。 達成目標では、基礎技術の習得、ルール・戦術の理解、ゲーム運営、実際のゲームにおいて、実践・発揮することとされており、90分の対面授業で、達成目標を達成できたと思う。 技術や戦術を身に付けるには、ある程度の反復練習と、実践であるゲームの中で試行錯誤することが重要で、そのためには、ある程度の時間を要する。決して運動能力の高い学生ばかりではなかったが、楽しみながら学んでもらえたと思う。	例年に比べ、欠席過多、課題未提出学生が少なく、授業評価（達成目標）も回復した。 実技を伴う授業で、得手不得手があるため、全員が達成目標に到達するのは難しいが、個別指導も含め、自己の成長を実感できるような授業を心がけていく。	授業評価4.43 回収率90.3% 科目GPA2.74
L221042 健康・運動の科学 A, D	達成目標 ①健康に関する様々な知識・考え方を理解できる。 ②自分にあった健康処方・運動処方をデザインできる。	90分の対面授業に戻り、課題も、前回授業の小テストを授業冒頭に行う形に戻した。 一部の過年度生など、さぼってしまう習慣のある学生にとっては、十分に対応できなかったと感じる。 逆に、授業を休まず、課題（小テスト）に取り組んだ学生は、評価点も含め、達成目標に近づけたと考える。	昨年と比較すると、GPAは、一部の過年度生が下げている傾向が見られるが、授業評価は上がっており、課題の方式も含め、集中して授業を受講してもらえたと思う。 授業内容を精査すると共に、その伝え方も見直すことで、更に集中して授業を受講し、課題に取り組めるよう工夫していく。	授業評価4.29 回収率78.9% 科目GPA1.42
L221043 健康・運動の科学 B	達成目標 ①健康に関する様々な知識・考え方を理解できる。 ②自分にあった健康処方・運動処方をデザインできる。	90分の対面授業に戻り、課題も、前回授業の小テストを授業冒頭に行う形に戻した。 今年度の受講生は、さぼってしまう習慣のある学生が少なく、GPAは昨年度の倍になった。 授業を休まず、課題（小テスト）に取り組んだ学生は、評価点も含め、達成目標に近づけたと考える。	教養科目としては、GPAと比較して授業評価は高い傾向にあった。学生の取り組みに感謝したい。 科目GPA、授業評価ともに上がっており、課題の方式を含め、集中して授業を受講してもらえたと思う。 授業内容を精査すると共に、その伝え方も見直すことで、更に集中して授業を受講し、課題に取り組めるよう工夫していく。	授業評価4.50 回収率82.4% 科目GPA1.46
S221001 スポーツ科学概論	達成目標 スポーツに関わる者として必要であるスポーツ科学および周辺知識を習得できる。 スポーツ科学全般に加えスポーツ振興政策と社会体育論、スポーツに関する法的知識、スポーツ心理学、スポーツ組織論についても理解できる。 対象者の年齢に合わせたスポーツ指導の方法を理解できる。	概論ということで、スポーツ科学のあらゆる分野の授業を、1回ないしは2回で、ある程度、その分野の知識、雰囲気を理解してもらうことに主眼を置いている。 今年度、3年目、昨年の内容を更にブラッシュアップして、対面授業で指導した。 90分の対面授業中に授業課題を行う形式で、昨年度よりもGPAが向上したが、授業評価は大きく下がった。授業内容に課題があったのか、今年度の受講生の問題なのか、精査していきたい。	90分の対面授業中に授業課題を行う形式は、特に1年生には有効であったと思う。 GPAは回復したが、それでも、一昨年に比べて低く(1.9→1.15→1.53)、学生が授業に適切できるような技術、環境、リテラシーを高めることが、対面授業という授業方式以前に必要だと考える。	授業評価4.01 回収率83.9% 科目GPA1.53
S221009 経営の基礎 I	達成目標 他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。	実際の授業コンセプトを、達成目標に即したものに担当者の話し合いで改善した。今年度は、1年生全員を大教室で行うのではなく、2つの教室に分けて実施した。 対面授業中に、手書きで提出する課題にはある程度対応できたが、追試・再試等、オンラインでの提出課題には、対応できない学生が散見された。 個別の対応をしていくには、大教室、全体で実施する授業比率を下げて、少数で指導する必要性を感じた。	昨年よりもGPA、授業評価ともに向上した。 次年度は、より達成目標にあわせた授業内容を設定すると共に、ゼミ単位の講義が出来ればと考える。 課題（手書きレポート）の質をあげる指導を心がける。	授業評価4.26 回収率68.8% 科目GPA2.19
S221056 専門ゼミナールⅢ	達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。	卒業まで大きな問題がない学生が3名、ポスターラインが2名、卒業が危うい学生2名、再履修生2名で、内容的には、専門ゼミナールⅢの内容に到達させるべき工夫をした。 2年間でそれなりに単位を取れている学生も、課題に真摯に取り組まない傾向が見られ、丁寧にレポートを作成する方法を伝えても、達成目標に近づけるゼミナール授業にはならなかった。	昨年と同じGPAが1.0であったが、授業評価、達成目標への到達度は低かった。 殆どの学生が、本を読む習慣がなく、自分に合った参考文献を探すことも、探した参考文献を読む力も持ち合わせていなかった。如何にして課題に取り組ませるかが、大きな課題である。	授業評価3.27 回収率66.7% 科目GPA1.00

S221075 卒業研究 I	達成目標 体育・スポーツと社会との関わりに関連したテーマを設定し、資料収集、文献の読解、発表、ディスカッション、卒業論文の作成を通して、体育・スポーツに関する幅広い見識を体系的に身に付ける。	十分に卒業研究を進められる学生が1名、なんとか課題をこなせる学生が1名、十分に課題をこなせない学生が2名、再履修生1名という構成で、思うように進まない状況であった。 結果的に、再履修生を含めて、合格ラインに4名達してくれた。卒業研究とするには、まだまだ課題が残っており、丁寧に指導していく必要がある。	それなりの評価に達した学生が3名いたため、GPAは回復したが、論文の本質的構造がわかっていない学生が殆どであり、指導に工夫が必要である。 授業評価を見る限り、指導内容は、達成目標に沿って、ある程度達成できたと学生自身も感じていたと考える。 今後も、学生のレベル、状況を鑑みながら、最低限のレベルはクリアさせていく。	授業評価5.75 回収率100% 科目GPA1.60
L221011 情報リテラシーB2	①情報倫理を身に付けることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。 現代社会において、コンピュータは社会生活に欠かせない重要なツールとして、誰もが利用できることが望まれています。特に、ネットワークに関することやワープロ・表計算・プレゼンテーションのソフトの活用は、個人はもとより企業活動にとって必要な要件になっています。コンピュータアプリケーションソフトの活用を通して、自分で問題解決できる能力を身に付けることを目的とします。	2年目に入り、教科書に沿ってOfficeを教える事には比較的慣れてきたと思う。しかし、学生の方は1年生であり、最初のうちはUNIPAでの課題提出に戸惑う学生もみられた。 毎回、Officeの製作物を提出させたが、さぼる学生がいる反面、大半の学生は真面目に取り組んでいた。 期末テストは別担当の方針で、UNIPAではなく、紙による四択問題を実施した。しかし、2608教室に時計が無いので困った。答えを教え合う事のできるスマホを使用禁止にしたため、学生から時間が分からないとの苦情が出たためである。そこで、私が黒板に時計を書いてしのいだ。	課題をさっさと終えて、友達と話などしている学生が一定数いた。 来年度は、もう少し課題の分量を増やして、学生が授業時間内はPCと格闘しなければならないように、過程評価を厳しくしたいと思っている。 Officeの使用は、一流大学では授業とする価値もないだろう。しかし、本学では卒業論文執筆などに必須の科目と思うので、しっかり行っていきたい。	授業評価4.131 回収率65.3% 科目GPA1.96
S221058 専門ゼミナールⅢ	経営的思考力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身に付け、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	今年度初めて担当したが、昨年のゼミ配属で来た6名（うち、中国人4名）の他、4月に急遽配属された編入学生3名の陣容であった。私のゼミの研究テーマである、発想支援システム、テキストマイニング、統計的検定の3分野について、全員に基本的なテキストを配布し、理解させる事を試みた。また、実際にプログラミングの改良や、Excelを使った統計処理の実習などもさせ、IT系の修得では必須である実践的な内容にした。学生達も比較的素直に与えられたテーマをこなしていたと思う。	初年度という事もあり、私が用意した枠組みに学生を当てはめて、やや画一的な内容になってしまったと反省している。 来年度はもう少し個々の学生の興味を探り、そこに合ったテーマを設定したい。また、情報的な内容だけではなく、もう少しゼミとしての研究テーマの幅を持たせたいと思う。	授業評価4.971 回収率77.8% 科目GPA2.44
L221010 情報リテラシーB1	①情報倫理を身に付けることができる。 ②簡単なビジネス文書を作成することができる。 ③簡単な表計算・グラフを作成することができる。 現代社会において、コンピュータは社会生活に欠かせない重要なツールとして、誰もが利用できることが望まれています。特に、ネットワークに関することやワープロ・表計算・プレゼンテーションのソフトの活用は、個人はもとより企業活動にとって必要な要件になっています。コンピュータアプリケーションソフトの活用を通して、自分で問題解決できる能力を身に付けることを目的とします。	2年目に入り、教科書に沿ってOfficeを教える事には比較的慣れて来たと思う。しかし、学生の方は1年生であり、最初のうちはUNIPAでの課題提出に戸惑う学生もみられた。 毎回、Officeの製作物を提出させたが、さぼる学生がいる反面、大半の学生は真面目に取り組んでいた。 期末テストは別担当の方針で、UNIPAではなく、紙による四択問題を実施した。しかし、2608教室に時計が無いので困った。答えを教え合う事のできるスマホを使用禁止にしたため、学生から時間が分からないとの苦情が出たためである。そこで、私が黒板に時計を書いてしのいだ。	課題をさっさと終えて、友達と話などしている学生が一定数いた。来年度は、もう少し課題の分量を増やして、学生が授業時間内はPCと格闘しなければならないように、過程評価を厳しくしたいと思っている。 Officeの使用は、一流大学では授業とする価値もないだろう。しかし、本学では卒業論文執筆などに必須の科目と思うので、しっかり行っていきたい。	授業評価4.16 回収率62.5% 科目GPA2.44
S221003 経営と情報	ITの技術的基礎について、ITパスポート試験の問題が解ける程度に理解出来る。経験を行う上でITをどのように使っていくべきかを理解している。 情報を経営に生かすうえで、IT技術の基本的知識は欠かせません。これなくして経営の視点だけで考えると本質を見失い、ソフト導入などの局面でも道を誤る事となります。まずはIT技術の基礎をしっかりと理解し、その上において、インターネットを中心に発展していくIT技術の活用方法を考えられるようにする事が目的です。	2年目なので講義資料を追加する事ができ、昨年度よりは充実した内容にできたと思う。 最初はハードやソフトなどのITの基礎的内容から入り、企業が昨今の情報社会、特にネット上の様々なツールをいかに活用すべきか、といった話を中心とする講義内容とした。また、近年話題のSNSの動向などは、私自身も講義資料を作っていて勉強になった。 毎回、学生が興味を持つようなトピック、トリビア的な内容を取り入れたため、面白いと言ってくれる学生もいた。	概ね高評価を貰えたが、今後も更に授業資料を追加し、なるべくより面白いと思って貰える内容にしていきたいと思っている。 ITパスポート資格の準備科目の位置づけとして、同資格の問題を解かせるなどの内容も取り入れて行きたいと思っている。	授業評価4.259 回収率76.5% 科目GPA2.52
S221007 経営の基礎 I	他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。 高校生から（本学）経営学部学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、経営学部学生としてのスキル・スキルを身に付けます。	他の先生とのオムニバス形式であり、様々な教えていただき、何とお対応できた。こちらが注意しても、無断欠席を行う担当学生がいて、対応に苦慮した。 毎回、学生にそれなりの分量の文章を書かせる内容のため、学生の作文能力向上に役立つ内容だと感じた。しかし、書く分量が少なく、字の汚い学生も目立つ。 担任をしている学生たちとのコミュニケーションも取れる良い科目だと思ったが、学生の顔と名前がなかなか覚えられず困った。特に野球部の学生たちは、似たような外見が多い。マスクをしているせいもあったと思う。	今年も学生の顔がなかなか覚えられなくて困った。 来年度は、意識して、特徴のある顔から順に、前期中には顔と名前を一致させるようにしたい。 今年度は、レポートの採点がやや甘かった、と反省している。 来年度は、特に学生にたくさん書かせる事を目標として、書いてある分量も考慮した採点を行いたいと思う。	授業評価4.415 回収率65.6% 科目GPA2.82
U221018 インターンシップB	社会で働くことの意味を考えられるようになる。 自己の職業適性を見つけることができる。 将来に向けての自己に必要な知識や能力が認識できる。 就業体験を通して社会の仕組みやコミュニケーション能力を取得します。 ビジネスパーソンとして必要な教養や職業倫理を身に付けることを目的とします。	昨年度は別の教員が全面的に行っていたが、退職されたのに伴い、私が1人で担当する事となり、実質、初の担当となった。前任者から、履修者をよく絞る事が大切、と伺っていたので、ガイダンスでは、いい加減な気持ちでやらないように強調し、履修者を絞る事ができた。 履修者はさすがにやる気が高く、事前指導も、実際のインターンシップでも、問題なく課題をこなした。 インターンシップ先がなかなか決まらない学生もいたが、キャリア支援課からの情報提供を最大限に利用し、行先を決める事もできた。 インターンシップ先のお礼回りに2か所に行き、交流を持つ事ができた。	造形学部は履修者が多過ぎて、十分なフォロー（お礼回りなど）が出来ないようであり、この点からも、来年度も履修者を絞る方針で行きたいと思っている。 一方で、履修者以外の多くの学生にも、インターンシップ経験が必要である事から、最適な人数はどれくらいか、探って行きたいと思う。自己開拓のインターンシップを促す事も模索中である。	授業評価4.0 回収率40% 科目GPA3.0

S221084 卒業研究 I	経営学関連の問題に関連したテーマを自ら設定し、そのテーマを調査・研究し解明していくことによって、経営能力を身に付けることができる。□ ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身に付け、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	教員1名の退職に伴い、4年生から担当する事になった4名を引き受けた。過年度生の日本人が1名、後の3名は中国人という陣容である。 企業のHPの文言などをテキストマイニングというデータサイエンスの手法を使って分析するテーマと、今年度の日本の物価上昇について、統計的に分析するテーマを設定した。学生達は比較的素直に与えられたテーマに取り組んだと思う。しかし、留学生は、何かとネット検索してはコピーをする傾向がある事に気付いた。そこで、私のオリジナルなテキストや参考文献とする書籍を与えて、そこからできるだけ引用させるようにした。 分析結果に対する考察などを何度も書かせて、使える日本語を書かせるまでにかなりの苦労があった。	情報学部時代に行っていた、テキストマイニングのテーマ設定は、本学学生には少し難しいのかもしれない。また、前任校では学生全員がWindowsのノートPCを持っていたが、本学では自分のノートPCを持たない学生がいる事を考えると、IT系のテーマ設定には限界があるようにも感じた。 次年度は、テーマ設定に関して、本学経営学部の学生でも取り組み易い内容を考える必要があると思った。また、まめに書かせる課題を与え、コピーではなく、自分の言葉でまとめる力を養いたいと思う。	授業評価5.0 回収率25% 科目GPA3.25
L221005 スタディスキル B1	①効果的にノートを取り、授業で学んだ知識を後から自分で再現できるようにする。 ②レポートやプレゼンテーション用のレジュメやスライドの構成を自ら考え、形式に則ってそれらを作成することができる。 ③図書館やインターネットを利用して課題に関連する情報を収集し、整理することができる。	スタディスキルの授業内容は、自己紹介、本学の施設紹介、ノートの取り方、文章の要約、レポートの作成の5つに分けられる。このうち、本学の施設紹介は、経営の基礎Iにおいても似た内容を扱うため、必要なものは両方の授業で扱い、そうでないものに対しては必要な調整を行った。また、レポートの作成は、情報リテラシーにおいても扱うが、大学の低学年のうちに身に付けておくべきスキルなので両方の授業で扱った。 文章の要約とレポート作成の授業では動画を視聴させるなど授業内容が単調にならないようにした。授業期間の後半には授業に対する興味が薄れた受講生が見られた。	授業に対する興味が持続するよう、次年度は、要約をさせる文章等を、受講生により身近なものにしたいと思う。	授業評価4.36 回収率77.5% 科目GPA2.64
L221017 数学と社会 A	①数学的な手法が、現代の社会の様々な場面で用いられていることが理解できる。 ②現代の社会で用いられている数学的な手法の原理について説明できる。 ③数学的手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。	インターネットを使って情報を受信する際に使用されている暗号を題材に、現実の社会で役立っている数学について説明した。暗号文を元の文章に戻すためには、ユークリッドの互除法を用いて不定方程式の解を求める必要がある。ユークリッドの互除法に困難を感じる受講生が多いため、僅かではあるがユークリッドの互除法の説明の時間を増やした。数学と社会Aの受講生は、授業に熱心に取り組む学生が多いように感じた。実際、数学と社会Aの科目GPAは他の2クラスに比べて高かった。	第14週の授業では現在使用されている暗号の次の世代の暗号について説明を行った。説明内容が少し抽象的だったためか多くの受講生が興味を示さなかった。 次年度は、第14週の授業内容を可能な限り具体的なものにしたい。	授業評価4.46 回収率48.3% 科目GPA2.66
L221018 数学と社会 D	①数学的な手法が、現代の社会の様々な場面で用いられていることが理解できる。 ②現代の社会で用いられている数学的な手法の原理について説明できる。 ③数学的手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。	インターネットを使って情報を受信する際に使用されている暗号を題材に、現実の社会で役立っている数学について説明した。暗号文を元の文章に戻すためには、ユークリッドの互除法を用いて不定方程式の解を求める必要がある。ユークリッドの互除法に困難を感じる受講生が多いため、僅かではあるがユークリッドの互除法の説明の時間を増やした。数学と社会Dの受講生の中には、授業にあまり興味を持っていない学生がいるように感じた。実際、数学と社会Dの科目GPAは、数学と社会Aの科目GPAより0.6低い。	第14週の授業では現在使用されている暗号の次の世代の暗号について説明を行った。説明内容が少し抽象的だったためか多くの受講生が興味を示さなかった。 次年度は、第14週の授業内容を可能な限り具体的なものにしたい。	授業評価4.04 回収率74.5% 科目GPA2.05
L221019 数学と社会 B	①数学的な手法が、現代の社会の様々な場面で用いられていることが理解できる。 ②現代の社会で用いられている数学的な手法の原理について説明できる。 ③数学的手法を用いて身の回りの課題を解決することができる。	インターネットを使って情報を受信する際に使用されている暗号を題材に、現実の社会で役立っている数学について説明した。暗号文を元の文章に戻すためには、ユークリッドの互除法を用いて不定方程式の解を求める必要がある。ユークリッドの互除法に困難を感じる受講生が多いため、僅かではあるがユークリッドの互除法の説明の時間を増やした。数学と社会Bの受講生には、授業に興味を持っていない学生が多くいた。実際、数学と社会Bの科目GPAは、3クラスのうちの最も低かった。	第14週の授業では現在使用されている暗号の次の世代の暗号について説明を行った。説明内容が少し抽象的だったためか多くの受講生が興味を示さなかった。 次年度は、第14週の授業内容を可能な限り具体的なものにしたい。	授業評価4.22 回収率74.2% 科目GPA1.86
S221006 経営の基礎 I	他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。	本学の施設等の案内などからなる“大学生入門”から始めて、外部講師によるキャリア形成に関する授業及び経営学の入門の授業を行った。 受講生19名のうち3名が過年度生であった。2名の過年度生が欠席過多で不合格となったが、この2名を除けば概ね問題なく単位を取得した。 今年度は1回個別面談を行った。	次年度は、授業内容あるいは授業の進め方を工夫することにより、個別面談を2回実施したいと考えている。	授業評価4.45 回収率94.4% 科目GPA3.42
S221044 専門ゼミナールⅢ	経営的思考力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。	専門ゼミナールⅢの授業では、仮説検定について学んだ。 具体的には、二項分布、二項分布に従う確率変数が与えられた条件を満たす確率、二項分布と正規分布との関係、仮説検定の考え方を説明した後、母比率の検定の例題の解法の説明を行い、更に受講生自身に母比率の検定の問題を作成させ、その問題を解かせた。一部の受講生は、母比率の検定とはどのような問題なのかを理解する段階に長い時間を必要とした。	次年度は、仮説検定の説明を行う前に、二項分布の基本事項について今年度以上に時間をかけ確認するようにしたい。	授業評価4.43 回収率75.0% 科目GPA2.63
S221074 卒業研究 I	経営学関連の問題に関連したテーマを自ら設定し、そのテーマを調査・研究し解明していくことによって、経営能力を身に付けることができる。	母比率の検定、母平均の検定、母平均の差の検定について学んだ。 今年度は、3種類の検定がどのようなことを明らかにできる検定なのかに重点をおいて授業を進めた。 数学に関する基礎学力が十分でない受講生は授業内課題の解答に困難を感じていたようである。	今年度は第10週の授業から卒業論文の作成の準備作業を開始したが、次年度は第10週の授業から卒業論文の作成を本格的に開始したいと思う。	授業評価4.73 回収率100% 科目GPA3.09

S221014 現代生活と会計 再履修	帳簿記入をする上で簿記一巡（貸借対照表および損益計算書を作成するまでの流れ）を理解することができる。 基本的な項目である現金の処理、商品売上の処理、手形の処理を理解し、会計処理することができる。 企業はお金に関する記帳をしています。これが簿記です。この簿記は、複式簿記と呼ばれ、財産や儲けを把握します。 マネジメントに必要な基礎的スキルを身に付けることを目的とします。	最後まで出席した学生は何とか単位取得できたが、欠席した学生をいかに登校されるかが課題である。	再履修クラスのため、欠席者以外でも嫌いな学生がいますので計算問題に時間をかけていきたい。 授業評価に関しては、十分に達成目標を達することができた状況を反映しているものと考えられる。更に達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度の個別指導の時間は必要であり、工夫したい。	授業評価4.57 回収率43.8% 科目GPA2.0 (F 以外2.83)
S221012 現代生活と会計 商教必	帳簿記入をする上で簿記一巡（貸借対照表および損益計算書を作成するまでの流れ）を理解することができる。 基本的な項目である現金の処理、商品売上の処理、手形の処理を理解し、会計処理することができる。 企業はお金に関する記帳をしています。これが簿記です。この簿記は、複式簿記と呼ばれ、財産や儲けを把握します。 マネジメントに必要な基礎的スキルを身に付けることを目的とします。	授業内課題の提出率が低く、授業外課題も提出率が更に低かった。そこで、終了時間の少し前に問題を解く時間を与え、未提出率を減少させたため、授業評価の改善につながった。 コロナでの欠席が多くなり、課題提出についても回収が困難だった。 大半の学生が理解できたと思われるが、翌年になると忘れていくことが多いので繰り返し、復習ができるようにしていきたい。	授業評価に関しては、回収率を考慮すれば、十分に達成目標を達することができた状況を反映しているものと考えられる。更に達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度の個別指導の時間は必要であり、工夫したい。 コロナで欠席した学生をどのようにしてフォローするか今後の課題である。	授業評価4.21 回収率67.7% 科目GPA3.03 (F 以外3.51)
S221029 専門ゼミナールⅠ	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身に付けられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身に付けられるようになる。 総合経営学科の専門教育を履修していく自立的な学習を支援するために、経営における総合的判断力を育てます。この関心や興味を履修モデルによる学習計画に反映され、総合経営学科の様々な分野の中から、自らの能力や適正にあった学習志向を見定めるよう支援します。	コスト管理を理解するために原価計算検定初級に挑戦してもらった。計算するにあたって考えすぎる学生が多く、自信がないように思えた。そこで多くの問題をこなして自信をつけさせ挑戦してもらった。 予想より合格者が多く安心した。 次年度も同様の対応をしていきたい。	授業評価に関しては、回収率を考慮すれば、十分に達成目標を達することができた状況を反映しているものと考えられる。更に達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度の時間は必要であり、工夫したい。	授業評価4.88 回収率50.0% 科目GPA3.6 (F 以外4)
S221048 専門ゼミナールⅢ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身に付け、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	MOS試験のエクセルを受験対策をした。 学生は自主的に検定試験を受験して合格したという報告を受けている。	授業評価に関しては、回収率を考慮すれば、十分に達成目標を達することができた状況を反映しているものと考えられる。更に達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度の個別指導の時間は必要であり、工夫したい。	授業評価4.6 回収率60.4% 科目GPA4.0
S221060 戦略思考Ⅰ	与えられたテーマについて、論理的・戦略的に思考し、自分なりの意見を提示することができる。 他者とコミュニケーションを取りながら集団の意見を集約し、課題解決することができる。 現代組織の運営に必要なコラボレーションに関わる知識・スキルを身に付けることができる。 担当教員ごとの専門科目において必要な戦略思考能力を身に付け、総合的な視点から判断できる能力を培う。	前期はMOS試験のエクセル対策を実施した。就職した後にも役立ち、実力を発揮できるようにするためである。 7月から徐々に学生が試験に挑戦し、合格したと報告を受けている。	授業評価に関しては、回収率を考慮すれば、十分に達成目標を達することができた状況を反映しているものと考えられる。更に達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度、個別指導の時間は必要であり、工夫したい。	授業評価4.65 回収率65.2% 科目GPA3.7
S221077 卒業研究Ⅰ	企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。 財務会計に関する会計基準や会計の役割、業績評価を理解し、マネジメントに必要な専門的スキルの活用を目的とします。	国際会計に関する論文を作成すると意気込んでいたが分量が多く、その一部でも様々な問題を含んでいるため、その話をしたら、別のタイトルを考えるなど二転三転、タイトルが変わったため、完成しなかった。よって、次年度は、早めの対策を講じていきたい。	中途半端な答案を提出した学生が数名いたため、評価が下がった。 次年度は、定期試験前までに完成するよう徹底指導していきたい。 達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度の個別指導の時間は必要であり、工夫したい。	授業評価4.56 回収率71.4% 科目GPA3.57
S221034 地域産業論 留学生科目	いわゆる地場産業の姿について理解することができる。 地場産業の実践例を通じて、地域の産業振興に必要なことを理解することができる。 他地域の地域産業の振興策を学ぶことを目的とする。	昨年は遠隔授業であったので対面での授業は初めてであった。 留学生は、コロナ前にいろんな地域を刊行しているのでもさまざまな地域で日本の地域活性化策が講じられていることを伝え、母国に帰っても対応できるように伝えた。	授業評価に関しては、回収率を考慮すれば、十分に達成目標を達することができた状況を反映しているものと考えられる。更に達成目標に対する授業評価を高めるには、留学生のため動画を見せるという時間は必要であり、工夫したい。	授業評価4.63 回収率64.1% 科目GPA3.26
L221024 英語コミュニケーション A B 1	①英語基礎力を確認することができる。 ②英語4技能の充実を図ることができる。 ③異文化理解や国際化理解など、幅広い内容に触れることができる。 英語コミュニケーションとは、英語を用いて表現することだけではありません。幅広い教養とさまざまな知識を駆使して表現に取り組みます。 この講義では、日常的なコミュニケーションに取り組み、高等学校までの総復習をおこない、コミュニケーションB及びコミュニケーションCで、発展的な外国語学習を可能にする知識を身に付けることを目的とします。	履修者数は総合経営学科1年生62名であった。 前期は対面授業を、一部「公欠」の学生にはリモート（オンライン）授業を行った。 毎週、各ユニットの学習項目に従って作成したパワーポイントをスクリーンに提示し、学習を進めて行った。 今年度から授業時間が1時間に短縮されたので、演習課題（5分以内の小テスト）は実施せず、代わりに自宅に演習課題を持ち帰って、独力で取り組んで、次週の授業開始前に提出する方法を採用した。その結果、履修学生が毎週の学習や課題、宿題に取り組み、定期レポート試験をウェブ上で提出し、約半数の学生がこの科目に合格した。 一方、学習の途中で、担当教員に授業Q&Aを活用して、色々な質問をメールで送信してきた学生が数名いたので、全て丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。しかし、本来の英語の授業は音声を使って、ペアワークやグループで英語を使いながら学習を進めることが殆どできなかったのは残念であった。	60%以上の学生が高い評価をしてくれた。この科目には、総合経営学科1年生65人のうち、約50%の履修学生が合格した。また、科目GPAが1.14とかなり低かったので、大方の学生たちの学習に対する姿勢はあまり良くなかったと言える。 過年度生の殆どが欠席過多で、定期試験を受験することができなかったことが残念であった。今後は、一人の脱落者を出さず、全員が合格できクラスを目指したい。	授業評価4.135 回収率58.7% 科目GPA1.14

<p>L221026 英語コミュニケーション A B 3</p>	<p>①英語基礎力を確認することができる。 ②英語4技能の充実を図ることができる。 ③異文化理解や国際化理解など、幅広い内容に触れることができる。 英語コミュニケーションとは、英語を用いて表現することだけではありません。幅広い教養とさまざまな知識を駆使して表現に取り組みます。 この講義では、日常的なコミュニケーションに取り組めるよう、高等学校までの総復習をおこない、コミュニケーションB及びコミュニケーションCで、発展的な外国語学習を可能にする知識を身に付けることを目的とします。</p>	<p>履修者数は総合経営学科1年生62名であった。 前期は対面授業を、一部「公欠」の学生にはリモート（オンライン）授業を行った。毎週、各ユニットの学習項目に従って作成したパワーポイントをスクリーンに提示し、学習を進めて行った。 今年度から授業時間が1時間に短縮されたので、演習課題（5分以内の小テスト）は実施せず、代わりに自宅に演習課題を持ち帰って、独力で取り組んで、次週の授業開始前に提出する方法を採用した。その結果、履修学生が毎週の学習や課題、宿題に取り組み、定期レポート試験をウェブ上で提出し、約75%が学生がこの科目に合格した。 一方、学習の途中で、担当教員に授業Q&amp;Aを活用して、いろいろな質問をメールで送信してきた学生が数名いたので、全て丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。しかし、本来の英語の授業は音声を使って、ペアワークやグループで英語を使いながら学習を進めることが殆どできなかったのは残念であった。</p>	<p>60%以上の学生が高い評価をしてくれた。この科目には、総合経営学科1年生22人のうち、75%以上の履修学生が合格した。また、科目GPAが1.55とまずまずであったので、大方の学生たちの学習に対する姿勢が良かったと言える。 今後は、1人の脱落者を出さず、全員が合格できクラスを目指したい。</p>	<p>授業評価4.259 回収率59.1% 科目GPA1.55</p>
<p>L221022 英語コミュニケーション A D 1</p>	<p>①英語基礎力を確認することができる。 ②英語4技能の充実を図ることができる。 ③異文化理解や国際化理解など、幅広い内容に触れることができる。 英語コミュニケーションとは、英語を用いて表現することだけではありません。幅広い教養とさまざまな知識を駆使して表現に取り組みます。 この講義では、日常的なコミュニケーションに取り組めるよう、高等学校までの総復習をおこない、コミュニケーションB及びコミュニケーションCで、発展的な外国語学習を可能にする知識を身に付けることを目的とします。</p>	<p>履修者数は総合経営学科1年生62名であった。 前期は対面授業を、一部「公欠」の学生にはリモート（オンライン）授業を行った。毎週、各ユニットの学習項目に従って作成したパワーポイントをスクリーンに提示し、学習を進めて行った。 今年度から授業時間が1時間に短縮されたので、演習課題（5分以内の小テスト）は実施せず、代わりに自宅に演習課題を持ち帰って、独力で取り組んで、次週の授業開始前に提出する方法を採用した。その結果、履修学生が毎週の学習や課題、宿題に取り組み、定期レポート試験をウェブ上で提出し、履修者数の約3分の2の学生がこの科目に合格した。 一方、学習の途中で、担当教員に授業Q&amp;Aを活用して、いろいろな質問をメールで送信してきた学生が数名いたので、全て丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。しかし、本来の英語の授業は音声を使って、ペアワークやグループで英語を使いながら学習を進めることが殆どできなかったのは残念であった。</p>	<p>75%以上の学生が高い評価をしてくれた。この科目には、造形学部スマートデザイン学科1年生33人のうち、76%以上の履修学生が合格した。また、科目GPAが1.82とまずまずであったので、大方の学生たちの学習に対する姿勢が良かったと言える。 今後は、1人の脱落者を出さず、全員が合格できクラスを目指したい。</p>	<p>授業評価4.336 回収率75.8% 科目GPA1.82</p>
<p>L221020 英語コミュニケーション A A 1</p>	<p>①英語基礎力を確認することができる。 ②英語4技能の充実を図ることができる。 ③異文化理解や国際化理解など、幅広い内容に触れることができる。 英語コミュニケーションとは、英語を用いて表現することだけではありません。幅広い教養とさまざまな知識を駆使して表現に取り組みます。 この講義では、日常的なコミュニケーションに取り組めるよう、高等学校までの総復習をおこない、コミュニケーションB及びコミュニケーションCで、発展的な外国語学習を可能にする知識を身に付けることを目的とします。</p>	<p>履修者数は総合経営学科1年生62名であった。 前期は対面授業を、一部「公欠」の学生にはリモート（オンライン）授業を行った。毎週、各ユニットの学習項目に従って作成したパワーポイントをスクリーンに提示し、学習を進めて行った。 今年度から授業時間が1時間に短縮されたので、演習課題（5分以内の小テスト）は実施せず、代わりに自宅に演習課題を持ち帰って、独力で取り組んで、次週の授業開始前に提出する方法を採用した。その結果、履修学生が毎週の学習や課題、宿題に取り組み、定期レポート試験をウェブ上で提出し、約76%が学生がこの科目に合格した。 一方、学習の途中で、担当教員に授業Q&amp;Aを活用して、いろいろな質問をメールで送信してきた学生が数名いたので、全て丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。しかし、本来の英語の授業は音声を使って、ペアワークやグループで英語を使いながら学習を進めることが殆どできなかったのは残念であった。</p>	<p>60%以上の学生が高い評価をしてくれた。この科目には、造形学部建築学科1年生42人のうち、75%以上の履修学生が合格した。また、科目GPAが2.36と比較的高かったので、大方の学生たちの学習に対する姿勢が良かったと言える。 今後は、1人の脱落者を出さず、全員が合格できクラスを目指したい。</p>	<p>授業評価4.194 回収率81.0% 科目GPA2.36</p>
<p>L221039 英語コミュニケーション C B</p>	<p>①英語力（語彙力、文法力、聴解力、読解力）を身に付けることができる。 ②情報処理能力（英語を英語のまま素早く理解する力）を身に付けることができる。 ③試験対策力（時間配分や解答アプローチ等）を身に付けることができる。 実用的な英語の学習（語彙力・文法力・リスニング力・リーディング力）を強化し、TOEIC550点以上を目指し、幅広い総合的な英語力を身に付けることができる。</p>	<p>履修者数は総合経営学科2年生48名を担当した。 前期は対面授業（一部の学生はオンライン授業）であった。毎週、テキストの各パートの学習項目に従って、学習を進めた。授業終了間際に確認用の小テストを配布し、次週までに各自で取り組んで提出してもらった。また、学習が半分程度進むと演習課題（まとめの語彙テスト）を配布した。95%以上の学生が毎週の学習やドリルに取り組み、演習課題と定期レポート試験を受験し、約92%が学生が合格した。 途中、担当教員に授業Q&amp;Aを活用して、いろいろな質問をメールで送信してきたので、全て丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。 学生の中には、途中で学習を諦めてしまった学生が4人出たが、全体として真面目に取り組んが学生が多かったので、授業自体は大変進めやすかった。</p>	<p>70%以上の学生が高い評価をしてくれた。この科目には、総合経営学科2年生48人のうち、90%以上の履修学生が合格した。また、科目GPAが2.23と比較的高かったので、大方の学生たちの学習に対する姿勢が大変良かったと言える。 今後は、1人の脱落者を出さず、全員が合格できクラスを目指したい。</p>	<p>授業評価4.259 回収率70.8% 科目GPA2.33</p>



S221005 経営の基礎 I	①他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 ②経営学の基本的考え方・専門用語を理解活用できる。 ③講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。 高校生から(本学)経営学部学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、経営学部学生としてのスチューデント・スキルを身に付けます。	履修者数は総合経営学科1年の日本人学生16名であった。前期は対面授業であったので、毎週の学習内容に従って授業を進めた。課題等の提出状況は、授業の当日提出する学生が殆どであった。その結果、大方の学生が毎週の学習に取り組み、課題と宿題、および定期レポート試験をウェブ上で提出し、14人の学生がこの科目に合格し、2人が不合格であった。不合格の2人は、再レポート試験を受験し、最終的に合格した。毎週の授業で、すべて学生の質問や相談に丁寧に回答し、最後まで粘り強く学習が続けられるよう援助した。全体として真面目に取り組んだ学生が多かったので、授業は比較的進めやすかった。	16人中15人が回答してくれた。このクラスは、履修学生16人のうち、スポーツ奨学金をもらっている日本人学生で、7人が野球部、2人がハンドボール部に所属している。また、科目GPAは2.63と比較的高かったため、全体として、学生たちの学習に対する姿勢が良かったと言える。	授業評価3.920 回収率93.8% 科目GPA2.63
S221047 専門ゼミナールⅢ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身に付け、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	履修者数は総合経営学科3年生8名であった。中国人留学生在が6人、ネパール人留学生在が2人、日本人学生が1人であった。前期は、対面式でTOEIC試験の対策講座を展開することができたので、毎週の学習内容に従って授業を進めた。また、演習課題、および宿題、定期レポート試験等の提出状況は、きちんと提出できた学生が殆どであった。前学期の間、直接留學生に会ったり、電話を掛けたりして、課題の進捗状況や学生生活などについて聞くよう努めた。その結果、ゼミ生全員がこの科目に合格した。	履修者8名のうちで7名が回答してくれた。また、科目GPAは2.38であったので、ゼミの成績評価としては、あまり高くはなかった。このクラスは、履修学生の中に日本人学生が1人いたことで、留學生と一緒に楽しい授業を進めることの重要性を認識することができた。	授業評価4.600 回収率87.5% 科目GPA2.38
S221072 卒業研究 I	企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身に付け、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	履修者数は総合経営学科4年生13名であった。ネパール人留學生が5人、中国人留學生が7人、スリランカン人留學生が1人であった。前期はすべて対面授業であったので、毎週の学習内容に従って進めることができた。ゼミ生は毎週、授業に出席してくれたので、授業をスムーズに進めることができた。また、殆どの留學生が毎週の課題の提出できた。その結果、13人の留學生全員が毎週の学習に取り組み、課題と宿題、および定期レポート試験をウェブ上で提出し、この科目に合格することができた。	13人の履修学生のうち、8人がかなり高い評価をしてくれた。このゼミは、履修した留學生全員が合格した。また、科目GPAが2.46と比較的高かったことは、留學生たちの学習に対する姿勢が良かったと言える。1人の脱落者を出さず、全員が合格したクラスでもあった。	授業評価4.800 回収率61.5% 科目GPA2.46
S221049 専門ゼミナールⅢ	経営的思考力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身に付け、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	解答を含めて、毎回全員に発言してもらおうようにした。前半は、法律の論点を全員で検討し、コメントするスキルを身に付けるべく学習した。後半は、公務員試験問題などを利用して、法律の基礎問題を学習した。また、頻出のテーマを利用した論文対策では、学修スキルを高めることができた。パワーポイントに関するレポート作成課題を与えたが、その意義をしっかりと確認したため、効果的な発表指導につながったと考える。ゼミ生による発表する機会が限られたが、コメントを求めることで次第に意見や質問をすることができるようになった。	進め方については、おおむね満足していたようである。それぞれの学習の進捗を確認して進めることができた。法律の論点では、具体例を用いて丁寧に解説するように心がけた。公務員試験対策では、間違った選択肢も詳細に分析することで、実力がついた。個人発表する機会が少なかったため、次年度の卒業論文のテーマを考える上でも、課題を与えてその機会を増やしていきたい。	授業評価4.692 回収率100% 科目GPA4.00
S221081 卒業研究 I	経営学関連の問題に関連したテーマを自ら設定し、そのテーマを調査・研究し説明していくことによって、経営能力を身に付けることができる。マネジメントに必要な基礎的スキルを身に付けると共に将来のキャリアに必要な資格あるいは公務員試験対策を通じて、専門的スキルを培う。	各ゼミ生の卒業論文の進み具合を、毎回それぞれ確認しながら指導することができた。ゼミの前半は、全員に共通する労働法の分野の新聞記事や判例を検討し、後半は個別指導を中心とした。最新の判例の調べ方や資料収集方法を取り上げることもあった。それぞれが次第に、自分のテーマにつき問題点の本質に触れるようになった。比較的早めに卒業論文の構成を確定していたことで、それに伴う資料収集が効率よくできた。昨年度のゼミ生の卒業論文を紹介することで、実際の書き方を理解することができた。進捗状況の発表で、完成に向けての進め方を効果的に指導することができた。	それぞれのテーマにつき、自由に発言してもらいながら進めた。他のゼミ生の発表に対して、それに対してコメントすることが難しいようなので、わからないことや疑問に思ったことを気軽に発言させるようにした。その結果、自らの卒業論文のためにヒントとなる作成方法を学ぶことができた。卒業論文の完成に向け、補習を含めて適宜指導することができた。有益な文献の収集方法については、必要に応じて情報提供をすすめていく。	授業評価4.683 回収率100% 科目GPA4.00
S221016 企業法	企業法の中核をなす民法、商法と会社法の基礎知識を活用して、企業における法的トラブルの際に、企業の仕組みや規制を踏まえて正しく行動、対処することができる。ビジネスパーソンとして必要な教養と職業的倫理観を身に付け、総合的に、かつ法的思考力から判断することができるようになる。	主に民法、商法及び会社法の分野につき、企業にかかわる法分野の論点を扱った。できるだけ身近な話題を提供し、基礎内容の把握から論点の検討を行うようにした。単なる条文の理解ではなく、立法趣旨を確認しながら、法規制の意義の把握に努めた。興味を持つ意味で、ニュースや新聞記事が身近な話題は効果的であった。授業は、概ね満足して受講してくれたようである。専門性が出ると難しいと感じる学生も多いので、基礎内容を何度も確認してから説明することを続けた。	できるだけわかりやすい具体例を挙げて、広範かつ難解な行政法の分野につき丁寧な解説を心掛けた。企業法を取り巻く広範な問題点について、できるだけ多くの事例や判例を盛り込みながら、レジュメ及び授業資料を活用した取り組みを継続していきたい。	授業評価4.544 回収率61.2% 科目GPA2.36
S221065 行政政策	行政権について理解し、国や地方自治体が行う公共政策のうち、これまでの社会政策について正しく認識し、どうあるべきかを判断することができる。ビジネスパーソンとして必要な教養と職業的倫理観を身に付け、総合的にかつ法的思考力から判断することができるようになる。	行政政策の中で、とりわけ社会政策の分野を中心に、政策を踏まえた法分野の基礎的内容を扱った。できるだけ、身近な話題から論点の検討を行うようにした。単なる条文の紹介ではなく、立法趣旨を確認しながら、法制度の意義の把握に努めた。興味を持たせる意味で、ニュースや新聞記事が身近な話題を活用して、実際の法的問題点の解説にも時間を割いた。授業は、概ね満足して受講してくれたようである。4年生対象の授業であり、社会に出る前の学習として有意義な授業となるように、様々な視点からの学習とした。	できるだけわかりやすい具体例を挙げて、広範かつ難解な行政政策の分野につき、論点を絞って丁寧な解説を心掛けていきたい。とりわけ社会政策を取り巻く問題点について、できるだけ具体的事例や判例を盛り込みながら、レジュメ及び授業資料を継続して活用していきたい。	授業評価4.810 回収率65.6% 科目GPA2.79

S221030 専門ゼミナール I	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身に付けられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身に付けられるようになる。 総合経営学科の専門教育を履修していく自立的学習を支援するために、経営における総合的判断力を育てる。 この関心や興味を履修モデルによる学習計画に反映され、総合経営学科の様々な分野の中から、自らの能力や適正にあった学習志向を見定めるよう支援する。	疑問や質問については積極的に自由に発言してもらうようにした。 前半は、身近な法律の論点を全員で検討し、意見を持つように指導した。 後半は、公務員試験問題などを利用して、主に法律の基礎問題を学習した。 国語の読解問題では、学修スキルを高めることができた。レポート作成課題を与えたが、作成方法がしっかり把握できていなかった。要約する技術を習得させ、来年度以降の論文作成につなげていきたい。 適宜与えた課題は、それぞれの学習到達度を把握することができた。 ゼミ生全員による発表する機会として、グループ発表を適宜設けていきたい。	それぞれの学習の進捗を確認して、個別に適宜アドバイスすることができた。比較的身近な法的問題を丁寧に解説することを心がけた。 公務員試験対策では、基礎学習を繰り返し徹底することで、実力を付けていった。 ゼミ生が発表する機会が少なかったため、興味のある法的論点についてグループ発表を設けていきたい。	授業評価4.859 回収率100% 科目GPA3.76
L221037 法学（日本国憲法）A、D	日本国憲法における基本的な知識について理解し、法的問題に際し適切な法的思考や解釈をすることができる。 日本国憲法の基本精神を学び、条文の趣旨を正しく解釈することを目的とする。	主に日本国憲法を取り巻く基礎的内容を扱った。できるだけ資料を活用して、身近な話題から論点の検討を行うようにした。単なる条文の理解ではなく、立法趣旨を確認しながら、条文の意義の把握に努めた。ニュースや新聞記事が身近な話題を活用して、実際の法的問題点の解説にも時間を割いた。 授業は毎回のコメントがしっかり記入されているものが多く、概ね満足してくれたようである。判例の検討が初めての学生が多いため、丁寧な説明を心掛けた。	できるだけわかりやすい具体例を挙げて、広範かつ難解な日本国憲法の分野につき丁寧な解説を心掛けた。 日本国憲法を取り巻く問題点について理解を深めるべく、できるだけ資料や判例を用いながら、レジュメ及び授業資料を引き続き活用していきたい。	授業評価4.537 回収率45.4% 科目GPA2.56
S221041 行政法	行政に関連する諸法律に共通する原理や仕組みについて理解し、住民として適切な法的行動をすることができる。 ビジネスパーソンとして必要な教養と職業倫理観を身に付け、総合的に、かつ法的思考力から判断することができるようになる。	行政法にかかわる法分野の基礎的内容を扱った。できるだけ資料を活用して、身近な話題から論点の検討を行うようにした。単なる条文の理解ではなく、立法趣旨を確認しながら、法制度の意義の把握に努めた。興味を持ってもらうべくニュースや新聞記事が身近な話題を活用して、法的問題点の解説にも時間を割いた。 授業は、概ね満足して受講してくれたようである。行政法を取り巻く論点が難しいと感じる学生もいるので、基礎内容を何度も確認してから説明するようにした。	できるだけわかりやすい具体例を挙げて、広範かつ難解な行政法の分野につき、より丁寧な解説を心掛けた。 行政法を取り巻く問題点について理解を深めるべく、できるだけ資料や判例を用いながら、レジュメ及び授業資料を引き続き活用していきたい。	授業評価4.779 回収率56.5% 科目GPA2.17
L221038 法学（日本国憲法）B	日本国憲法における基本的な知識について理解し、法的問題に際し適切な法的思考や解釈をすることができる。 日本国憲法の基本精神を学び、条文の趣旨を正しく解釈することを目的とする。	主に日本国憲法を取り巻く基礎的内容を扱った。経営学部の学生が対象であり、法律の基礎を確認した上で、企業法を含めてできるだけ身近な話題を用いて論点の検討を行うようにした。単なる条文の理解ではなく、立法趣旨を確認しながら、条文の意義の把握に努めた。ニュースや新聞記事が身近な話題を活用して、実際の法的問題点の解説にも時間を割いた。 授業は概ね満足してくれたようである。判例の検討が苦手な学生もいるため、丁寧な説明を心掛けた。基礎内容を何度も確認してから説明した。	できるだけわかりやすい具体例を挙げて、広範かつ難解な日本国憲法の分野につき丁寧な解説を心掛けた。 日本国憲法を取り巻く問題点について理解を深めるべく、できるだけ資料や判例を用いながら、レジュメ及び授業資料を引き続き活用していきたい。	授業評価4.513 回収率65.3% 科目GPA2.54
S221021 経営管理論	経営管理論の理論的発展過程について体系的に理解できる。 管理者の仕事・役割について理解し、企業や会社で実際にマネジメントできる。 経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報など）を活用し、管理・組織化する方法について総合的に判断できる。 経営学の基本であるヒト、モノ、カネ、情報に関する知識を主体的に学ぶことを通して、企業や会社で実際にマネジメントできるようにするための管理者の仕事・役割について学習する。	今年度は90分授業体制に戻ったことで、伝えたいことを伝えやすい時間的余裕が確保できる様になったことは有難く感じた。ただ、水曜クラスに比べて使用教室が狭く、再履修者を閉め出した分履修者は少なめになったものの、課題の返却方法は時間のかかる一人一人返却方式を取らざるを得ず、その分の時間ロスは余計に掛かってしまった。 学生の「授業体力」が持つか懸念もあったが、本授業については授業内容に付いてこれる学生が多めだったように感じた。	昨年度と比較すると科目GPAが1.79から大幅に改善しており、実際S評価学生が16名にも達した。この辺りは90分授業体制が再開したことで、伝えたいことが伝わりやすくなった点が大きいのではと考えられる。 設問2も4.0から4.5に上昇しており、シラバスの記載内容の狙いがある程度は達成できたのではと考える。ただ、使用教室が次年度以降も変わらないのであれば、より授業時間そのものを確保する工夫を考える必要があると感じた。	授業評価4.349 回収率64.8% 科目GPA2.45
S221022 経営管理論	経営管理論の理論的発展過程について体系的に理解できる。 管理者の仕事・役割について理解し、企業や会社で実際にマネジメントできる。 経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報など）を活用し、管理・組織化する方法について総合的に判断できる。 経営学の基本であるヒト、モノ、カネ、情報に関する知識を主体的に学ぶことを通して、企業や会社で実際にマネジメントできるようにするための管理者の仕事・役割について学習する。	今年度は90分授業体制に戻ったことで、伝えたいことを伝えやすい時間的余裕が確保できる様になったことは有難く感じた。また課題の返却方法についても、一人一人返却する方式から、学習によってブロック化しそのブロックから自分の課題を抜き取らせる等の方式に変更することで、返却にかかる時間を短縮することが可能になった。もっともスペースを確保しやすい大部屋で実施する授業故に実現できた手法ではある。更に、学生の「授業体力」が持つか懸念もあったが、本授業については授業内容についてこれる学生が多めだったように感じた。ただ、再履修者を本クラスに集約したこともあってか、月曜クラスよりは学習結果にムラが生じた。	GPAが昨年度の1.55からは改善がみられたが、月曜クラスよりは低く出てしまった。教室のキャパシティの関係上再履修者を水曜日クラスに集約したことが主因だと考えられるが、成績面でも月曜クラスよりC評価の割合が多く、また再試験の対象者もはるかに多かった。 再試験合格者はかなりの数に上ったものの、定期試験時点で合格者を如何に増やしていくのか課題が残った。	授業評価4.427 回収率55.3% 科目GPA2.15
S221025 専門ゼミナール I	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身に付けられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身に付けられるようになる。 総合経営学科の専門教育を履修していく自立的学習を支援するために、経営における総合的判断力を育てます。	昨年度と比べて日本人の割合が増えたが、ほぼ何らかの運動部所属者で、また取り組み具合にもバラつきが生じてしまったきらいがある。 ゼミ選択において第2・第3希望で履修した者が多いという事情もあるが、自ら積極的に取り組む者と、殆ど取り組もうとしない者の間の差が激しかった。 留学生は概ね真面目に取り組んでいたが、昨年度のメンバーよりは気持ち欠席が多めに感じた。	GPA数値上は昨年度と変わりはないが、退学者も含めて失格が4名も出てしまった。また、ゼミの課題への取り組み具合もバラつきが見られ、中には箸にも棒にもかからないレベルの者さえみられた。ゼミでは自分で課題に取り組む主体性が求められると考えているが、このレベルとなると色々と手取り足取り助けを出さないと単位取得も覚束ないきらいがあり、どこまで介入すべきか歯痒さを感じる所である。	授業評価4.671 回収率77.8% 科目GPA2.11

S221059 戦略思考 I	与えられたテーマについて、論理的・戦略的に思考し、自分なりの意見を提示することができる。 他者とコミュニケーションを取りながら集団の意見を集約し、課題解決することができる。 現代組織の運営に必要なコラボレーションに関わる知識・スキルを身に付けることができる。 担当教員ごとの専門科目において必要な戦略思考能力を身に付け、総合的な視点から判断できる能力を培う。	昨年度と比べて留学生の履修者が減ったこともあり履修人数も昨年より少なくなったが、履修した日本人学生の意欲が総じて高く、時折欠席者が出たりはしたものの、各グループとも積極的に取り組んでいた。 他方で、コロナ禍を理由に遠隔授業で受講した学生も一定数みられ、本授業の学習効果という点では効果半減してしまったかという点ではあった（グループワーク前提の授業であるが、団体行動が苦手という理由も感じなくもなかった）。	授業評価自体は昨年度から若干下がったものの、GPAは昨年度2.67より向上した。 履修者の成績も概ね高めで、今期の履修者は意欲的に取り組んでもらっていたと考える。 他方で、団体行動が苦手そうな学生が来年度履修した場合の対応を課題として考えなければとも感じた。	授業評価4.600 回収率66.7% 科目GPA2.89
S221040 現代マネジメント講義 I	現役経営者の講義から、将来自分が経営者・管理者に就任した時に必要な経営実践のヒントを学ぶことができる。 講義の内容を理解し、講義内容の要点をノートに的確にまとめることができる。 実社会で活躍される現役経営者のお話から、経営という仕事にはどのようなことが求められるのかを学び取り、自らのビジネスパーソンとしての教養及び経営実践能力の向上に反映させることを目的とします。	90分授業体制に戻ったものの、本授業については昨年度から大幅に変化した点はみられず、昨年度よりは減少したもののコロナ感染防止目的の欠学申請者も一定数みられ、ゼミによっては殆どリアルタイムで参加していないケースもあった。 課題提出方式が結局UNIPA提出基本なのが影響している様に感じるが、同方式はじっくり記述して提出できるメリットが（特に留学生に）あり、一長一短ではある。	今年度はB評価が突出して多く（58名）、C評価も40人と多めで再試験対象者も二桁に上った。例年よりも平均レベルが下がっているくらいがある反面、積極的に特別講師に質問する履修者が複数みられる等、二極分解している様に感じられる。 余り積極的に取り組んでいない履修者のやる気を如何に引き出すかが課題として残っている。	授業評価4.483 回収率50.7% 科目GPA1.87
S221050 専門ゼミナールⅢ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身に付け、総合的に、かつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	経営学系ゼミ担当の著しい減少に伴い、今年度からゼミの内容をCSR中心から経営学全般に広げ、履修学生の興味深い領域をメインに研究発表してもらう方式に変更した。その事が効を奏したのかは不明であるが、例年以上に意欲的にゼミに取り組む学生がそろった印象である。 前期は経営戦略論に基づいたプレゼンが中心で、ゼミ生各自熱心に取り組んでいた。退学した1名及びコロナ感染防止目的の欠学申請者を除いては、成績も良好であった。	昨年度のGPA2.83よりも向上し、GPA3点台に乗せることができた。各自真面目に課題に取り組んでいたもので、その結果がストレートに現れたと考えられる。反面メンバーに恵まれたという要因が強いとも考えられ、次年度にそのままのスタイルで対応できるかどうかは微妙な点もある。また、現メンバーのモチベーションを下げない様な対応も必要と感じている。	授業評価4.680 回収率90.9% 科目GPA3.08
S221071 卒業研究 I	CSR関係の問題に関連したテーマを自ら制定し、そのテーマを調査・研究し解明していく。それによって社会に真摯に仕える能力を身に付けることができるようになる。 関連の学習の成果として、CSRや「企業と社会」絡みの分野の範囲内で各自卒論テーマを制定し、卒論作成への準備を進めることを目的とします。そして社会に真摯に仕える能力を身に付けてもらいます。	今年度は比較的真面目に取り組む学生が多く、取り分け数の多い留学生にその傾向が強い（但しコロナ感染防止目的の欠学申請者は成績が低めに出てしまった）。 卒論作成に向けて参考図書を早めに複数冊購入するよう指導し、例年よりは対応が早いように感じている。ただ、章立て等構成の構築にまで中々至らないゼミ生もみられ、その点歯痒さを感じている。	GPA数値は昨年度と余り変化がないものの、授業評価の数値と回収率は向上した。指導方針が合っているのであれば喜ばしいが、ぬるま湯的な環境が心地よいという可能性もあり得る。ともあれ全員卒論を無事提出できる様に何とか導かなければと感じている。	授業評価4.815 回収率92.9% 科目GPA2.79
U221001 地域クリエイション基礎 高大連携	①三河地域に関する伝統的なものづくり産業と現在の最先端技術の繋がりについて理解することができる。 ②三河地域の伝統的なものづくりとの創造変化について理解することができる。 本大学がものづくりを通して地域と密着していることを理解し、自分が地域に何で貢献できるかを探り入学後に本学を通じて実現することを目標とします。	今年度は募集定員に満たない人数となり、更に途中で10人脱落してしまったので、カリキュラム上の問題点が色々浮き彫りになってきたと言えるかも知れない。 現行方式の場合レポートをまとめる機会が多いが、履修する生徒にとっては負担が大きいかとも考えられるので、少し簡略化を図ることも考慮すべきかも。	高校生対象の授業のため授業評価アンケートの数値無し。 昨年度GPA2.86と比べると大幅に減少してしまった。 今年度は脱落者が多かったことも理由であるが、定員割れしていることから本講義自体の魅力を高めるための工夫が必要になってきているとも感じられる。	授業評価- 回収率-% 科目GPA2.05
S221035簿記Ⅱ 商教選必	会計専門用語や仕訳を理解することができる。 貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書を作成することができる。	日商簿記検定2級の商業簿記レベルを修得することを目標とする科目である。 「現代生活と会計」や「簿記Ⅰ」とは難易度に各段の差がある。また、学習量（範囲）も多い。簿記が嫌いではないから受講している学生と真剣に日商検定を受験しようと思っているが、個別対応が難しい。解説するテーマを絞って、できる限り丁寧な説明を心がけた。	簿記の習得には、数多く問題を解くことが必要である。学生が自分で問題を解く時間を確保できるよう、工夫を怠っていない。	授業評価3.61 回収率70% 科目GPA2.18
S221061 戦略思考 I	与えられたテーマについて、論理的・戦略的に思考し、自分なりの意見を提示することができる。 他者とコミュニケーションを取りながら集団の意見を集約し、課題解決することができる。 現代組織の運営に必要なコラボレーションに関わる知識・スキルを身に付けることができる。	新カリキュラムの科目である。 テキストをもとに、企業の決算書から、その企業の戦略やビジネスモデルを探る授業を行った。 受講者が、会計に関心をもっており、また、少人数であったこともあり、お互いにコミュニケーションを取りながら授業を進めることができた。	企業の戦略を探るにあたり、認知度の高い企業を対象とすることで、学生の関心と理解を得ることができたように思われる。また、学生とのコミュニケーションおよび学生同士のコミュニケーションが取れたことで、学習理解が進んだように感じた。 次年度においても、意見をいえる雰囲気づくりに努めたい。	授業評価4.69 回収率70% 科目GPA2.25
L221006 スタディスキル B2	①効果的にノートを取り、授業で学んだ知識を後から自分で再現できるようになる。 ②レポートやプレゼンテーション用のレジュメやスライドの構成を自ら考え、形式に則ってそれらを作成することができる。 ③図書館やインターネットを利用して課題に関連する情報を収集し、整理することができる。	スタディスキルの授業では、自己紹介、本学の施設紹介、ノートの取り方、文章の要約、レポートの作成について学習した。 授業内容によっては、総合経営学科の他の科目（経営の基礎Ⅰ、情報リテラシーなど）と重なるところがあるが、学生が今後の学習で必要となるスキルであるので、重複して学習した。文章の要約とレポート作成の授業では動画を視聴させるなど授業内容が単調にならないよう工夫した。 授業全体を通して、大部分の受講生は熱心に取り組んでいたと思われる。	ノートの取り方やレポートの作成方法などを身に付けるためには、そうしたスキルが必要となる場面が必要であり、また、個別的な細かな指導が必要であると思われる。 個別的な細やかな指導を心掛けていきたい。	授業評価4.18 回収率76.7% 科目GPA2.15
S221051 専門ゼミナールⅢ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。	実際の企業の財務諸表をもとに財務分析を進めようとしたが、ゼミメンバーの会計知識の差が大きく、進められなかったため、上場企業の決算書を読むのに必要な会計知識を補うよう輪読を行った。 学生のプレゼンテーションに関する補足資料を用意し、時間をかけて解説をし、理解を深められるよう努めた。	ゼミナールのメンバーにあわせ、授業の進め方を変更したことが、授業評価につながったと考えられる。 今後も、細やかな対応を心掛けていきたい。	授業評価4.68 回収率100% 科目GPA2.67
S221069 卒業研究 I	財務会計に関するテーマ設定、テーマに沿った資料収集・文献読解、卒業論文の作成を通して、財務会計を体系的に理解できる。	ウェブ上の資料の切り貼りや論文を作成しようとするので、論文のストーリーの立て方や、資料収集、文献読解についての丁寧な指導を心がけた。 時間をかけて、何度もやり直しをさせ、毎週報告するという形式をとった。 受講者同志で議論することもできた。	授業内容および授業方法は、受講者に概ね受け入れられたように思われる。 今後も、こまめな対応を心掛けていきたい。	授業評価4.8 回収率50% 科目GPA2.40

S221010 経営の基礎 I	他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。	本学の施設等の案内などからなる“大学生入門”から初めて、外部講師によるキャリア形成に関する授業および経営学の入門の授業を行った。 種々の分野の講師が授業を行うことで、いわゆる経営学だけでなく、様々な側面から学習することができた。 大人数での授業であったため、個々の学生に十分に対応することができなかつたように思われる。	授業内容について、受講生に概ね受け入れられたように思われる。 次年度は、授業内容や授業の進め方を工夫し、個々の学生に十分に対応する時間を確保していきたい。	授業評価4.07 回収率75% 科目GPA3.19
S221013 現代生活と会計 商教必	帳簿記入をする上で簿記一巡（貸借対照表および損益計算書を作成するまでの流れ）を理解することができる。 基本的な項目である現金の処理、商品売上の処理、手形の処理を理解し、会計処理することができる。	簿記の経験者も多く、そうした受講生にはたいてい授業になるが、他方で留学生や簿記の初学者も多いので、言葉をできるだけはっきりとし、丁寧な説明を心掛けた。 簿記は理解するだけでなく、演習問題を繰り返し実施しないと身につかない科目であるが、大人数授業の中で、十分な演習時間を取ることに難しさを感じた。	簿記は、勘定科目を言語として用いている。勘定科目を理解すれば、ほぼ全てのことが理解できる。勘定科目は、漢字を見れば、おおよその意味はわかるものであるが、近年は、非漢字圏の留学生が増えているため、理解が難しくそうである。 用語の意味の説明に時間がかかり、やはり演習問題を解く時間の確保が難しいが、できる限り時間の確保に努めていきたい。	授業評価4.24 回収率81.8% 科目GPA1.94
U221012 未来産業ワーク	産業とデザインの関係性を理解し、説明することができる。 モノづくりの先にあるサービスの創成の必要性を理解し、説明することができる。 新しい市場と産業の在り方について、自分の考えを提案することができる。 愛知県内の企業・団体を題材として地域産業の課題解決に取り組むことにより、新しい市場と産業の在り方について、自ら考える力の養成を目指す。	本授業は、地元の企業・団体を題材として地域産業の課題解決に取り組むことを目的とするもの。 大学に隣接する道の駅瀬川宿の農産物直売所の関係者（JA、生産者）と連携し、学生が関係者から聞き取り調査を行う場を提供した。学生は産直広場の課題を把握、課題解決のための提案（ビジネスプラン）をまとめた。関係者への提案内容のプレゼンテーションを行い、更にブラッシュアップし、年末に近隣大学合同で開催された学生フォーラム（研究発表会）で発表した。学外でアプトブットの間を持てたことは、学生にとっても貴重な経験になったと考える。	今後も、現場からの情報収集の機会や、授業内でまとめた提案を何らかの形で発表する場を設けていきたい。	授業評価4.35 回収率40% 科目GPA2.31
S221038 ベンチャー論 【開放】 商教必	ベンチャーの起業から成長に至る過程を理解することができる。 ベンチャー企業の地域への貢献と事業リスクについて理解することができる。 ベンチャー企業の成長マネジメントについて学習することを通して企業経営に関する理解を深める。	アントレプレナーシップ教育は、どのような職業に就くにしても重要なテーマであり、企業家精神を身に付けられるよう、多くのベンチャー企業や起業家の事例を扱った。 受講生が多数であったこともあり双方向性を持たせるために、学生にビジネスアイデアを提案させる機会を設けた。 本科目は、企業経営に関する他の科目の応用科目であるため、知識を問うのではなく、自ら考えさせる試験問題（レポート）としたため、昨年よりGPAが低下した（学んだことを応用して自ら考え、それを文章で表現するという作業が困難）。	今後も受講生が多数となっても、双方向の要素を取り入れられるよう、工夫したい。	授業評価4.40 回収率64.1% 科目GPA1.87
S221063 戦略思考 I	与えられたテーマについて、論理的・戦略的に思考し、自分なりの意見を提示することができる。 他者とコミュニケーションを取りながら集団の意見を集約し、課題解決することができる。 現代組織の運営に必要なコラボレーションに関わる知識・スキルを身に付けることができる。 戦略思考能力を身に付け、総合的な視点から判断できる能力を培う。	多くのケースを通じて様々なビジネスの現状に触れと共に受講生自身が経営戦略の基本的な思考法を使ってそれぞれが選択したケースの分析とプレゼンテーションを行った。 一部の受講生は、自分が選択した企業について自分なりに調査・分析し、自分の意見を発信することができた。しかし、大半の学生は実際の企業の取り組みを戦略論の基本的なキーワードと関連づけるのは困難であり、単にWeb情報を丸写しするに留まっていた（自分で考えるという作業が大半の受講生ができない状態）。それがGPAに反映されていると考えられる。	今年度は個人での作業となってしまうので、次年度は グループワークを取り入れたい。	授業評価4.37 回収率64.1% 科目GPA1.77
S221033 専門ゼミナール I	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身に付けられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身に付けられるようになる。	教員がテーマを設定し、そのテーマに沿ってをグループで調査・発表させるという課題を課した。グループワークの経験のない学生ばかりで結局個人の作業となってしまう、グループワークを成立させるのは困難であった。 留学生の語学能力にかなりの差があることも困難な原因であった。そのため、途中から座学に切り替えざるを得なかつた。	今後は、現場からの情報収集の機会を設けていきたい。	授業評価4.65 回収率25.0% 科目GPA2.38
S221057 専門ゼミナールⅢ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。 ビジネスパーソンとして必要な経営的思考能力や教養、職業的倫理観を身に付け、総合的にかつチームとしての視点から判断できるための能力を培う。	教員がテーマを設定し、そのテーマに沿ってグループで調査・発表させた。 チームスポーツの部活に所属している学生が4名おり、それらの学生を中心に積極的に他者と関わるよう働きかけ、少しづつではあるがゼミ生同志がコミュニケーションを図ることができたと考える。	今後も、グループワークをより多く取り入れて、コミュニケーション能力の向上を図っていきたい。	授業評価4.33 回収率30.0% 科目GPA2.8
S221078 卒業研究 I	企業や会社のマネジメントについて、自分自身の考えを持ち、それを効果的に表現することができる。 ビジネスパーソンとして必要な経営戦略的思考と職業的倫理観を身に付け、社会から活躍できる能力を養います。	自分の興味のある分野について情報収集を行い、ゼミ生全員が卒論のテーマを決定することができた。そのテーマについて、今後どのような調査を進めていくのかを発表させた。教員からも今後の展開について指導した。	今回は、学生自身にテーマを選定させたが、教員の専門分野に則って統一的な指導をするためには、ある程度教員側から選択肢を示していくことも必要だと考える。	授業評価4.80 回収率37.5% 科目GPA3.63

L221054 スポーツA B	達成目標 ①基礎技術を習得し、ゲームの中で技能として発揮することができる。 ②「ルール」・「フォーメーション」・「戦術」を理解し、ゲームの中で発揮することができる。 ③審判を含め、ゲームを円滑に運営できる。 教養科目として、コミュニケーションを通して、自己の課題発見、課題解決を模索する。	種目としては硬式テニスを実施した。履修者数は21名であり、使用するコート数に対して適正な人数であった。 授業方法としては、対面（実技）で実施した。対面（実技）では、基礎技術の習得、ルール・戦術の理解、ゲーム運営を、実際のゲームにおいて実践・発揮することを目指し、基本的な技術・理論を解説し、実践した。そして、解説した内容を受講ノートとしてまとめ、提出することで理解を深めることを目指した。 技術や戦術を身に付けるには、ある程度の反復練習と実践であるゲームの中で試行錯誤することが重要で、対面（実技）の時間配分を増やすことが技術の理解と実践には必要であると感じた。ただし、感染予防の観点から、対面授業で行うことについては、今後更に工夫して実施することが必要である。	授業評価に関しては、回収率を考慮すれば、概ね達成目標を達成することができたのではないかと考える。 達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度の対面授業は必要であり、状況に合わせて、対面とオンラインを併用しながら、授業展開できるように工夫していきたいと考えている。	授業評価4.224 回収率81.0% 科目GPA1.48
S221017 スポーツビジネスとマーケティング	スポーツビジネスへの対応を念頭においてマーケティングのあり方を理解できる。実際に行われているマーケティング活動に対して関心をもち、自分自身でスポーツマーケティング戦略を考えることができる。 スポーツ事業を企画・提供する基本的な内容を理解し、実践することができる。	経営分野の中でも、スポーツに関する内容について取り扱う科目となる。主に、ビジネスおよびマーケティングにおける基礎的な内容をスポーツに照らし合わせて内容を構成した。 1年次における経営に関する基礎知識を踏まえた内容となるが、それらの理解度により、評価に差が出たと感じている。それまでの他の科目でも取り上げられた内容をスポーツ関連のもので考えることで、一般的な経営とスポーツの経営の共通する点や異なる点など、それらを理解した上で、スポーツの経営を捉えられるように工夫した。これらの点でスポーツに関する経営への理解度は、深まったと感じている。	授業方法として、全ての回を原則対面とし、希望者には遠隔対応にて実施した。授業資料や課題の内容等について、対面時と遠隔対応の内容を維持するように意識した。達成目標に対する授業評価を高めるには、ある程度の対面授業は必要だと考える。今後は対面授業の内容を工夫し、より理解が深まるようにしていきたいと考えている。	授業評価4.479 回収率63.0% 科目GPA2.21
S221032 専門ゼミナール I	経営上の様々な事象に問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身に付けられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身に付けられるようになる。	教員が用意した教材を元に、読む、書く、まとめる、といったスキルについて学習した。主に、読む、書く、まとめる、といった学修スキルに加え、PC等を用いたレポート作成やプレゼンテーション資料の作成を行った。レポート作成や卒論作成に繋がる基本的なスキルの学習であるが、繰り返し行うことで、個人差はあるが少しずつ向上していたと感じている。また、PCスキルについても同様で、普段からPCを利用する機会の有無により、理解度や習熟度に差はあるが、少しずつ慣れていくことができたと感じている。	対面形式でのゼミナールを実施することができたことから、解説と課題作成、PCスキルについての理解を深めることができるように工夫した。 少人数ではあるが、今回、課題の難易度については若干高いものを選択した。PCの所有やスキルに差があり、実際にPCを操作する機会は少ない学生にとっては難しい課題であった可能性もある。今後は、難易度の高い課題を取り入れる際には、履修者の思考力や読解力、PCスキルの状況を見極め、解説等の量を増やし、理解度の向上につなげていきたいと考えている。	授業評価4.80 回収率17.6% 科目GPA1.82
S221055 専門ゼミナールIII	達成目標 経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。 経営学について多角的な観点から学習し、より専門的な経営学的思考能力を身に付けます。ビジネスパーソンに必要なスキルと知識を理解していく。	教員が用意した教材を元に、読む、書く、まとめる、といったスキルについて学習した。主に、読む、書く、まとめる、といった学修スキルに加え、PC等を用いたレポート作成やプレゼンテーション資料の作成を行った。レポート作成や卒論作成に繋がる基本的なスキルの学習であるが、繰り返し行うことで、個人差はあるが少しずつ向上していたと感じている。また、PCスキルについても同様で、普段からPCを利用する機会の有無により、理解度や習熟度に差はあるが、少しずつ慣れていくことができたと感じている。	対面形式でのゼミナールを実施することができたことから、解説と課題作成、PCスキルについての理解を深めることができるように工夫した。 少人数ではあるが、今回、課題の難易度については若干高いものを選択し、卒業論文執筆へと繋がるように課題を設定した。PCの所有やスキルに差があり、実際にPCを操作する機会は少ない学生にとっては難しい課題であった可能性もあるが、今後は、これらの課題の成果を活かし、卒業論文執筆につなげていきたいと考えている。	授業評価4.65 回収率40.0% 科目GPA2.80
S221076 卒業研究 I	達成目標 体育・スポーツと社会との関わりに関連したテーマを設定し、資料収集、文献の読解、発表、ディスカッション、卒業論文の作成を通して、体育・スポーツに関する幅広い見識を体系的に身に付ける。 体育・スポーツを経営学、経済学、社会学、健康科学、医学といった様々な視点から捉え、社会における体育・スポーツの意義を考え、問題点を分析し、解決策を探求していく。	対面授業で実施する事が可能となり、前半は卒業論文の各自のテーマに沿った資料収集と資料分析を行った。そして、収集した資料についてまとめ、発表するための資料作成を行った。 後半は、収集した資料をもとに、卒業論文のアウトラインを作成し、執筆を開始した。また、定期的に卒論指導や就職活動の状況確認を行った。 資料収集に苦勞する者もいたが、文献検索の方法の指導や参考資料を提供することで、資料収集のスキルはある程度身に付いたと思われる。しかし、収集した資料を読解し精査することについては、もう少し時間をかけて取り組めるようにした方が良かったと感じている。また、これまでも繰り返し行ってきたプレゼンテーション資料の作成や発表については、当初に比べ向上していると感じている。	対面でのゼミナールということで、解説と課題作成、卒業論文の執筆を効率良く進めることができるように工夫した。個別に指導する機会を多くし、卒論に関する内容説明を時間をかけて解説することを心がけた。今後も個別指導の機会をできるだけ多くするように心がけ、卒業論文の執筆につなげていきたいと考えている。	授業評価4.533 回収率60.0% 科目GPA2.90
L221030 日本語中級	基本的なやりとりを超える程度の日本語を運用することができる。 日本語能力試験N2以上レベルの文や文章を読み、書き、話すことができる。 日本語能力向上に特化した学習に取り組む習慣を身に付けることができる。 以上3点を到達目標としている。大学での授業を受講する上で必要な日本語能力及びコミュニケーション能力を修得するため、「語彙」「文法」「読解」「聴解」をバランスよく学べることを教育効果としている。	授業の基本は、テキストにある語彙や文法項目を応用して、さまざまな話題を展開した例文を紹介したりすること。更に読解や聴解演習に真摯な態度で取り組むように導くこと。 前年度はテキストにある四択問題を各自で解く時間を与えていたが、どうしても息抜きに流れてしまう学生が現れるため、全て授業外課題とした。この点が功を奏して、学生たちの集中力は比較的高かったと思う。	選択必修の科目であったが、受講生全員が単位を取ることができた。 授業評価、回収率、科目GPA2.6はそれぞれまずまずの数字ではあるが、特に科目GPAについてはまだ改善の余地がある。授業への好感度と成績の高さを比例させたい。	授業評価4.450 回収率80.0% 科目GPA2.6
L221031 日本語上級	日常的な場面だけでなく、より幅広い場面で使われる日本語を運用することができる。 日本語能力試験N1以上レベルの文や文章を読み、書き、話すことができる。 日本語能力向上に特化した学習に取り組む習慣を身に付けることができる。 以上3点を到達目標としている。大学での授業を受講する上で必要な優れた日本語能力及びコミュニケーション能力を修得するため、「語彙」「文法」「読解」「聴解」をバランスよく学べることを教育効果としている。	今年度は受講生の数が少なかった。 国籍も中国とベトナムほぼ同数で、男女のバランスもとれていた。このように、いい意味での緊張感が生まれやすい状況だったので、語彙・文法・読解・聴解すべての分野にわたって生き生きとした授業をすることができた。	授業評価5.0は全教養科目の中でトップであった。 回収率は83.3%なのでかなり信憑性の高い数字だとは思っている。 これに慢心することなく、次年度もさらなる授業内容の改善を図っていきたい。	授業評価5.0 回収率83.3% 科目GPA3.5

L221032 現代日本の文化研究	レベルの高い日本語の文章に向き合い、その内容や論理展開についてより深く理解することができる。 読解力の基礎となる語彙力と文法力を増強し応用力を養うことができる。 現代日本の文化についての理解を深めることができる。 以上3点を到達目標としている。上記の目標に沿うべく、現代日本の企業社会で使われる独特の日本語表現を学ぶことを教育効果としている。	履修者は1年生から4年生まで幅広く、国籍は中国・ベトナム・ネパール・トルコ・スリランカ・ウズベキスタンと6か国に及んでいた。 ビジネス関係の日本語、日本のビジネス習慣などについて詳しく紹介し、丁寧に解説した。多国籍の強みを活かし、「日本ではこうだが、あなたの国ではどうですか」という質問を何度も何度も繰り返した。その甲斐があって、活気のある授業展開ができたと思う。	授業評価4.778は全教養科目の中で第2位であった。 ただし回収率は64.3%なので慢心するわけにはいかない。 GPA2.54ももう少しあげていきたい数字である。	授業評価4.778 回収率64.3% 科目GPA2.54
L221047 キャリアデザインⅠ	自己のこれまでの経験・学びについてまとめ、伝えることができる。 自分軸を形成することができる。 自己に必要な知識や能力が認識できる。 以上3点を到達目標としている。学科の学びに関係した仕事について理解し、就職活動の準備をすることを教育効果としている。	2年目の担当ということで前年度に比べると格段に落ち着いて授業をすることができた。 模擬面接授業についても、前年度と同じく数多くの外部講師全員を自分一人で手配し、これといったアクシデントもなく順調にこなすことができた。 多くの学生がキャリアデザインに関する基礎的な知識を身に付けたと思う。	授業評価4.528は大教室での授業の中では良好だと思う。 ただし、回収率は52.2%なので慢心するわけにはいかない。 学習過程評価の低い学生がかなりいて、それが科目GPAの低さにつながっている。次年度の課題である。	授業評価4.528 回収率52.2% 科目GPA2.1
S221002 異文化理解	国際ビジネスの素養として、自国の文化とは異なる諸文化についての理解を深めることができる。 様々な国・地域の文化の共通点・相違点を把握し、諸文化を尊重する態度を養うことができる。 以上2点を到達目標としている。上記の目標に沿うべく、様々な国・地域の文化について学ぶことを教育効果としている。	経営学部総合経営学科の1年留学生全員と3年留学生の一部が履修した授業であり、彼ら自身が日本という異文化空間の中で生活しているため、授業自体はやりやすかったと言える。 毎年、世界の文化のどこに比重を置くに頭を悩ますが、今年は言語の紹介に特に力を入れた。 受講生は中国・ベトナム・ネパールの3か国だったので、お互いの言語に興味を抱くように工夫をこらした。	専門の必修科目であったが、受講生全員が単位を取ることができた。 授業評価、回収率、科目GPAはそれぞれまずまずの数字ではあるが、慢心することなく次年度に臨みたい。	授業評価4.671 回収率82.4% 科目GPA3.0
S221004 経営の基礎Ⅰ	他者とのコミュニケーションを通じて、諸課題に対処することができる。 経営学の基本的考え方・専門用語を理解・活用できる。 講義中に出てきたキーワードを活用して、現代企業の在り方について総合的に判断できる。 以上3点を到達目標としている。高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れるように、大学生としてのスチューデント・スキルを身に付けることを教育効果としている。	途中で脱落した過年度生を除くと、受講生全員が中国またはベトナムの出身。しかもムードメーカー不在のおとなしいクラスであった。与えられた課題を黙々とこなすタイプの学生が多かったため、クラス運営に苦労はしなかった。ただ、学期の途中から遅刻や欠席が目立ち、対応に心を砕いた。	専門の必修科目であったが、途中で脱落した過年度生を除く受講生全員が単位を取ることができた。 授業評価、回収率、科目GPAはそれぞれまずまずの数字ではあるが、慢心することなく次年度に臨みたい。 授業評価4.356は自分が担当した2022年度前期科目の中で最も低い数字であるという現実も直視したい。	授業評価4.356 回収率60.0% 科目GPA2.93
L221052 中国語A B	中国語の発音、基本的な文法を学習すると共に実践的な状況、例えば「中華料理を食べる」をテーマに実践的な会話能力を磨きます。 語彙力と表現力を養い、基礎会話能力を養成します。同時に、中国社会への理解を深めると共に、中国語学習への意欲向上を図り、「中国語」の基礎固めを行います。 中国語の発音構造や特徴を理解し、簡単な挨拶表現ができる。 中国語の基礎的な会話を行うことができる。 中国語の側面にある文化を学習し、中国社会への理解を深めることができる。	全て対面授業で実施した。 経営学部対象のクラスで、遠隔授業希望者でも学びやすいように、本来対面授業で使う予定であったPPT資料をUNIPAの授業資料で配信し、また、教科書、付属のCDと併せて学習する方法で実施した。語学では遠隔授業は対面授業にはかなわないことを実感した。 本講義では中国語の初學者を対象とし、文法の説明は最小限にとどめて、発音練習を中心に、中国語を多く聞き、たくさん話し、中国語への興味を育みながら楽しく学習させた。特に、日常の身近なテーマや場面で、学生が自分の意志を中国語で表現することや、中国語を話す楽しさを実感してもらった。 テキストを1週で1課ずつというゆっくりとしたペースで進めた。また、附録の「決まり文句」を確実に身に付けさせた。授業時間外で複数回の演習問題を行わせ、授業の内容について振り返りをしてもらった。教科書の付属の「別冊問題集」を使用した。	履修者は101人で、2名遠隔授業希望者で、昨年での授業（遠隔授業）改善アンケートの結果より高い評価になり、回収率もアップとの結果になった。 語学では遠隔授業は対面授業にはかなわないことを実感した。 今後も受講生全員参加型の授業ができるように工夫していきたい。	授業評価4.549 回収率69.3% 科目GPA1.95
L221053 中国語A A D	中国語の発音、基本的な文法を学習すると共に実践的な状況、例えば「中華料理を食べる」をテーマに実践的な会話能力を磨きます。 語彙力と表現力を養い、基礎会話能力を養成します。同時に、中国社会への理解を深めると共に、中国語学習への意欲向上を図り、「中国語」の基礎固めを行います。 中国語の発音構造や特徴を理解し、簡単な挨拶表現ができる。 中国語の基礎的な会話を行うことができる。 中国語の側面にある文化を学習し、中国社会への理解を深めることができる。	全て対面授業で実施した。 遠隔授業希望者でも学びやすいように、また、対面で来れない学生には本来対面授業で使う予定であったPPT資料をUNIPAの授業資料で配信し、教科書、付属のCDと併せて学習する方法で実施した。 語学では遠隔授業は対面授業にはかなわないことを実感した。	履修者は66人で、3名遠隔授業希望者で、昨年での授業（遠隔授業）改善アンケートの結果より高い評価になり、回収率もアップとの結果になった。 語学では遠隔授業は対面授業にはかなわないことを実感した。 今後も受講生全員参加型の授業ができるように工夫していきたい。	授業評価4.460 回収率70.6% 科目GPA2.32
S221031 専門ゼミナールⅠ	経営上の様々な事象に自ら問題意識を持ち、問題の構造や背景を読み解く方法・技術を身に付けられるようになる。 問題や解決提案をプレゼンテーションする能力、意見や批判を受け止め、考え続けていく探求能力を身に付けられるようになる。	12名のゼミ生、4名公欠申請で、本来、対面授業でゼミ生が少人数だからこそ交友関係を広げることができなかった。 学生一人一人の関心があること、経営への興味や関心の度合、学生の理解度を確認しながら指導する予定であったが、公欠申請による遠隔授業を受けた学生が使いやすいSNSツールでコミュニケーションを取った。また、個別指導や、退学意向のあるゼミ生も一緒に前期の学習を終えられたことを評価したい。	昨年度の評価は4.05でしたが、今年度は回収率も評価も高くなった結果でした。 ゼミで専門を学び始める最初のゼミであり、丁寧に、個々の学生に対応するよう心掛けています。 今後も個々の学生へのきめ細やかな指導ができるよう心がけると同時に、授業内でゼミ生全員に疑問を共有し、共に考え、教えることを遠隔授業を希望者でもできるように工夫して行きます。	授業評価4.756 回収率70.6% 科目GPA2.45
S221052 専門ゼミナールⅢ	経営的思考能力・総合的経営判断能力を身に付け、企業や会社で実際にマネジメントできる。	今年度は対面授業で実施した。 毎回の授業内容への理解を深めるため、各自が感心を持つテーマについて主体的に調べさせ、考えてきたことを学生が使いやすいSNSツールを使って、ゼミ以外の時間もゼミ生とのコミュニケーションを取りながら、学習面で困っている学生一人一人に伝え、学生生活を少しでも楽しく学習を続けるための意欲を持ってもらえるよう、学生に寄り添うことに努めた。	いよいよ3年から「何を卒論テーマにするか」を明確にする時であり、丁寧に、個々の学生に対応するよう心掛けています。 まだ満足していない学生があるようで、今後とも「個々の学生」を視野に、授業改善に努めます。	授業評価4.625 回収率80% 科目GPA3.10

S221083 卒業研究 I	日中間の文化的差異を深く理解し、中国をより深く知るための方法を身に付ける。自分で選択したテーマの研究成果を卒業論文にするための準備ができるようになる。ビジネス場面におけるプレゼンの前の段階として様々な準備のやり方が身につく。	学生に個別指導をした。卒業論文の作成準備が主体となるが、各ゼミ生がこれまで学習してきたことを踏まえ、各自で自分が一番関心のあるテーマを選択、設定させ、卒論の進捗状況の報告と提出をさせ、ゼミ指導以外に時間は、LINEグループ通話でディスカッションを行いながら、研究を進めさせた。ゼミ生一人一人へのきめ細やかな指導には努めた。	昨年度の評価は4.967履修者は7名で、授業評価回収率は100%とほぼ同じ結果になった。高い回収率で、1人だけはすべての評価項目で低評価だった。ゼミ生全員それぞれの卒論研究の進捗状況、就職活動に合わせて授業を進めたつもりだったが、今後よりゼミ生の全員の要望に答えられる授業を進めていく。	授業評価4.714 回収率100% 科目GPA3.14
L221007 スタディスキルB3	大学の授業を学生にとって意味あるものとして生かすために、基本的な学びの（学ぶための）技術であるスタディスキルを身に付けさせることが本授業の目標です。効果的にノートを取り、授業で学んだ知識を後から自分で再現できるようになること、レポートやプレゼンテーション用のレジュメやスライドの構成を自ら考え、形式に則ってそれらを作成することができること、図書館やインターネットを利用して課題に関連する情報を収集し、整理することができることを授業の達成目標とします。	高校生から大学生への移行をスムーズに行い、充実した大学生活を送れることをまず、高校とノートの取り方、講義ノートのとり方、レジュメやレポート作成の方法、図書館での情報収集と活用などを大学の勉強方法がよくわかることから授業を進めてまいりました。半年だけでは短くは感じますが、それぞれ課題を自分で調べ、自分なりの答えを出すことができた授業と思います。	今後、専門科目、教養科目を学び始める基盤となる授業で、丁寧に、分かりやすく、伝わるように心掛けています。評価も回収率も高い方ですが、まだ満足していない学生があるようなので、今後とも「個々の学生」を視野に、授業改善に努めます。	授業評価4.479 回収率84.3% 科目GPA2.33
S221004 貿易論	貿易の基礎理論、最低限の専門用語や手続きが理解できるレベルを習得すると同時に、最新の話題や事例を用いて中国をはじめとする新興国市場との貿易活動への理解を深めること。貿易・サービス・資本取引の発展によって国際経済の相互依存の度合いはどのように深化し変化しているのかを考察し、その貿易の発生するメカニズムを把握する。	貿易とは何か？なぜ貿易行われるか？日本は国際経済の相互依存の度合いはどのように深化し変化しているのか？貿易について基礎理論的、政策的、制度的な側面から解明し、様々な事例（中国を中心とした）を挙げて海外との商品取引の実態とその決済方法を学びます。授業中には、ディスカッションを通じて知識の理解と定着をさせるようにしました。	昨年度の回収率は69.2%で、今回は71.3%に上がったが、評価は昨年度の4.789より低くなった。次年度は貿易の基礎的な部分の講義回数をもう少し増やして、貿易に関心を引くような現実の話題も取り入れ、学生の理解度を高め行く授業を工夫していきたい。	授業評価4.558 回収率71.3% 科目GPA2.43